

益子町

地域公共交通計画

(令和4年度～令和8年度)



令和4年3月

益子町

目 次

第1章 計画概要.....	1
第1節 計画策定の趣旨.....	1
第2節 計画の区域.....	1
第3節 計画の期間.....	1
第2章 上位・関連計画によるまちづくりの方向性.....	2
第1節 第3期ましこ未来計画（総合計画）.....	2
第2節 益子都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（栃木県策定）〈抜粋〉.....	3
第3節 益子都市計画マスタープラン〈抜粋〉.....	5
第4節 とちぎの道路・交通ビジョン 2021.....	8
第5節 まちづくりの方向性.....	9
第3章 地域状況を踏まえた公共交通の現状と課題.....	10
第1節 益子町の位置・地勢.....	10
第2節 人口の状況.....	11
第3節 主要施設の状況.....	14
第4節 公共交通の状況.....	16
第5節 地域公共交通に関する町民アンケート調査.....	38
第6節 地域状況やアンケート結果を踏まえた公共交通の問題点.....	52
第7節 益子町地域公共交通網形成計画の目標達成状況.....	54
第4章 計画の基本的な考え方.....	56
第1節 目指す将来像.....	56
第2節 基本方針.....	58
第3節 目標と施策、及び評価指標.....	59

第5章 施策の展開.....	60
第1節 計画達成のための目標.....	60
【目標1】いきいきと生活する高齢者の増加.....	60
【目標2】多様な主体の移動環境の向上.....	61
【目標3】公共交通の利用促進.....	64
【目標4】公共交通利用者満足度の向上.....	67
第2節 目標達成度の評価指標.....	68
第6章 計画の推進について.....	70
第1節 計画の推進体制.....	70
第2節 計画の推進方法.....	70
第3節 計画の評価及び見直し.....	71
第4節 計画の推進にあたって.....	72

第1章 計画概要

第1節 計画策定の趣旨

現在、益子町にはデマンドタクシー『ひまわり号』をはじめ、真岡鐵道や関東自動車（旧東野バス）、民間タクシーなどの公共交通機関があり、町民の日常の移動手段として広く利用されています。

今後、さらなる少子高齢化の進展や高齢者の運転免許返納の増加が予想されるため、日常生活において公共交通が担う役割は大きくなるものと思われます。

このため、将来に向けて町民がより安心して利用できる持続可能な公共交通の必要性が高まっています。

国では令和2年11月に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部改正が施行されました。これは、自治体が交通事業者をはじめとする地域の関係者と協議しながら、公共交通の改善や移動手段の確保に取り組める仕組みを拡充するとともに、特に地方部などでは、地域の輸送資源を総動員して移動ニーズに対応する取り組みを促すため、持続可能な運送サービスの確保に資する取り組みを推進することを目的としたものです。

以上のような背景を踏まえ、本町では地域内で運行を行う交通事業の連携を促進させ、まちづくりと連携した地域にとって最適な地域公共交通ネットワークを構築するため、「益子町地域公共交通計画」を策定しました。

第2節 計画の区域

本計画は、益子町全域を計画区域とします。

第3節 計画の期間

本計画は、公共交通を取り巻く環境の変化に対応するため、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
第3期ましこ未来計画（総合計画）					
計画策定	益子町地域公共交通計画				

第2章 上位・関連計画によるまちづくりの方向性

地域公共交通に関わる上位・関連計画を整理し、今後のまちづくりの方向性を整理します。

第1節 第3期ましこ未来計画（総合計画）

【計画期間】

令和3年度～令和7年度

【まちの将来像】

幸せな協働体（共同体）・ましこ

【計画の目的】

「ましこならではの」価値をつくり、「逆転の時代」をつくる

【優先目標】

- ①子育て・教育環境の充実を図り「子供を育てたいまち」をつくる
- ②住環境の整備により「住みたいまち」をつくる
- ③産業振興により「仕事のあるまち」をつくる

【基礎目標】

- ①幸せを感じる暮らしをつくる
- ②風土に根ざした産業をつくる
- ③社会的に自立した人を育てる
- ④地域資産を活かし、未来へレガシーをつくる
- ⑤健全で次世代型の経営体をつくる

【主要関連目標】

基礎目標2：風土に根ざした産業をつくる

政策3：観光の基幹産業化

施策1：観光基盤の整備

【具体的行動】レンタサイクルステーション等の二次交通^{*}整備の推進をします。

^{*}二次交通：出発地点から目的地周辺までの移動手段の次に利用する、目的地周辺での移動手段のこと

第2節 益子都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（栃木県策定）〈抜粋〉

【都市計画区域の整備、開発及び保全の方針の変更】

令和3年3月 栃木県改定

【都市づくりの基本理念】

- ①誰もが暮らしやすくコンパクトな都市づくり
- ②誰もが安全でスムーズに移動できる都市づくり
- ③持続可能で効率的な都市づくり
- ④新技術を活用した環境にもやさしいスマートな都市づくり
- ⑤とちぎの魅力や強みを活かした都市づくり

【交通施設の都市計画の決定の方針】

（1）交通体系の整備の方針

拠点地区の形成や、拠点地区（田野・益子・七井の生活拠点地区）及び都市間の連携にあたっては、鉄道・バスなどの公共交通ネットワークや歩行者・自転車の利用環境を充実していくとともに、自動運転技術など新技術の導入も踏まえた自動車交通との連携や適切な役割分担を図ることにより総合的な交通体系を構築し、誰もが安全でスムーズに移動できるネットワーク型の都市づくりを進めます。

本区域は、真岡鐵道や（国）121号、（国）123号、（国）294号などの広域交通網を活用しながら、隣接する宇都宮都市計画区域や茂木都市計画区域、さらには県内外との広域的な連携を図ります。

公共交通は、真岡鐵道を基軸としてバス路線やデマンド交通が整備されていますが、周辺都市間や区域内交通においては、自家用車が主な移動手段となっています。このため、地域の実情に応じた交通手段の選択のほか、自動運転技術の活用などにより、広域的な交通から身近な生活を支える交通まで多様で面的な交通ネットワークの構築を図ります。

また、歩道や公共交通機関などのバリアフリー化や自転車の利用環境の充実、パーソナルモビリティ等の導入や利用環境の整備を促進し、歩いて暮らせる都市づくりを進めます。

本区域においては、地域拠点地区（益子地区中心部）を核に大小様々な拠点地区が位置付けられています。

これらの拠点地区間の連携を強化するため、広域的な連携軸を基軸としながら既存の鉄道・バスなどの公共交通機関を活用しつつ、幹線道路網の整備を推進し総合的な交通体系の構築を図ります。

(2) 主要な施設の配置の方針

①鉄道・バス等

益子駅や七井駅の交通結節機能の強化を図るとともに、バスを含めた交通機関相互の連携や機能の充実・強化により効率的な交通基盤を確立し住民の利便性の向上を図ります。

また、人口減少・超高齢社会に対応し、既存集落や郊外部からも拠点地区にある生活利便施設をより使い易くするため、地域に適した交通手段の導入を促進するとともに、路線バスなどの運行円滑化や利便性向上、駅へのアクセスの強化を図る施設の整備を進めます。

合わせて、モビリティマネジメントなどにより公共交通の利用を促進し、自家用車から公共交通への移動手段の転換を図ります。

②その他の施設

道路の整備や鉄道・バスなどの公共交通ネットワークの構築にあわせて、誰もが安全で安心して移動できる空間を確保するため、歩道や公共交通機関のバリアフリー化や自転車利用環境の充実を図るとともに、パーソナルモビリティ等の導入や利用環境の整備を促進します。

また、貨物車が歩行者や自動車の通行を妨げる恐れのある箇所に、路上や路外の荷捌き駐車施設などの整備を図るほか、共同集配施設や管理・運用システムの導入を促進するなど、物流の効率化を図ります。

(3) 主要な施設の整備目標

概ね10年以内に実施することを予定する主要な事業は、次のとおりです。

①広域連携軸

広域連携軸として、以下に挙げる道路の整備を進めます。

○(主)つくば益子線など

②都市間・都市内連携軸

都市間・都市内連携軸として、以下に挙げる道路の整備や公共交通の充実を図ります。

○(一) 下大羽益子線(都)3・5・3号益子南通り)、
(町)4号栗崎道祖土線(都)3・5・1号益子道祖土通り)、
(都)3・5・7号益子石並通りなど

○路線バスなどの地域公共交通の充実

～交通体系の骨格～

2種の幹線道路と真岡鐵道からなる交通体系

○公共交通

[真岡鐵道（益子駅・七井駅）]

車による交通手段を持たない人達や観光客にとって重要な交通の足となる

[バス交通等]

路線バス・デマンドタクシーなどの最適な組み合わせにより公共交通体系を充実する

【まちづくりの基本方針】

～交通体系の方針～

○公共交通

《真岡鐵道》

- 学校事業に合わせた増設運行をはじめ、自家用車による交通手段を持たない高校生などの利便性を確保する活用策の促進に努めます。
- 真岡鐵道に対する財政的支援の実施継続に努めます。
- イベント時（陶器市・土祭等）における乗客増に対応した車両の増結など、観光客の交通手段の確保や観光振興につながる活用策の促進に努めます。

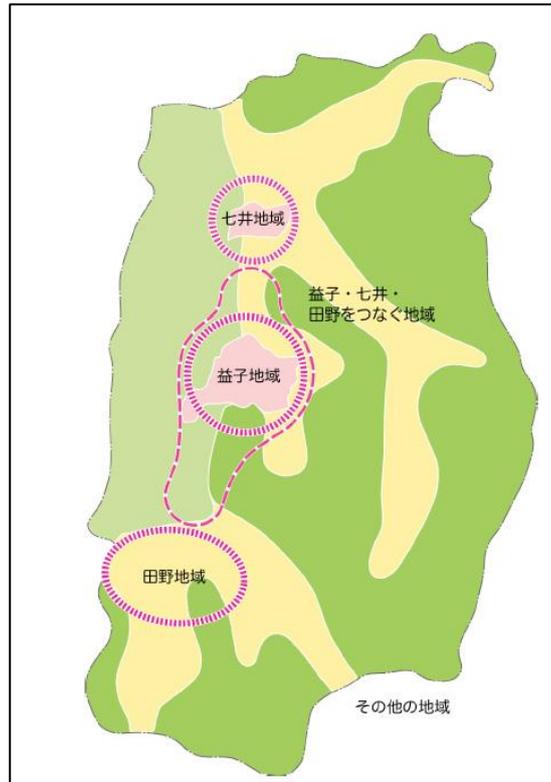
《バス路線等》

- 子供や高齢者の重要な交通手段となる路線バスの確保に向け、財政的支援の実施継続に努めます。
- 交通空白地域の生活交通手段を確保する新たな公共交通システムとして、デマンドタクシー（通称：ひまわり号）の運行継続や利便性向上に努めます。

《観光振興のための交通手段》

- 観光振興にとって重要な公共交通として、民間高速バス（関東やきものライナー）の運行継続に努めるとともに、周辺市町の観光レクリエーション施設と連携する望ましい交通手段のあり方を検討します。
- 一定期間中に多くの観光客が訪れるイベント時においては、乗客増に対応した民間高速バス（関東やきものライナー）の増車や臨時バスの運行などに努めます。

【地域別構想】



1) 益子地域

○交通ネットワーク

《真岡鐵道》

町民や観光客の共有のスペースである益子駅周辺（益子を代表する外観の駅舎や福祉関連施設が隣接する区域）を中心に、陶芸メッセや城内坂通りなどの地域資源を連絡する、町民と観光客それぞれの利用を考慮した歩行者ネットワークの形成を図ります。

《バス路線等》

商業施設や医療機関のある益子市街地と周辺の集落部とを自由に結ぶ、町民の日常的な移動手段となるデマンドタクシー（通称：ひまわり号）の運行継続や利便性向上に努めます。

2) 七井地域

○交通ネットワーク

《真岡鐵道》

七井駅周辺を中心に、周囲の住宅地や商業地とを連絡する、町民の利用を考慮した歩行者ネットワークの形成を図ります。

《バス路線等》

商業施設等の立地する七井市街地と周辺の集落部とを自由に結ぶ、町民の日常的な移動手段となるデマンドタクシー（通称：ひまわり号）の運行継続や利便性向上に努めます。

第4節 とちぎの道路・交通ビジョン 2021

【計画期間】

令和3年度を初年度として概ね20～30年間で計画期間とします。なお、社会経済情勢に大きな変化や関連施策の変更等が生じた場合など、必要に応じて計画の見直しを行うこととします。

【概要】

本ビジョンでは、「とちぎ未来創造プラン」に掲げるめざす将来像「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」を実現するため、①全国・海外へ広がる「全国・海外と連携する交通ネットワーク」、②県内の市町を連絡する「県内各拠点を結ぶ交通ネットワーク」、③市町内の日常生活等で必要となる「地域を支える交通ネットワーク」の更なる連携・強化を図ります。加えて、頻発・激甚化する自然災害や新型コロナウイルス感染症の感染拡大等への危機対応力の強化、2050年カーボンニュートラルの実現、更には、経済発展と地域課題の解決を両立できる社会（Society5.0）を目指し、AI・IoT、ロボットなどのデジタル技術を積極的に活用しながら「誰もが、いつでも・どこでも、安全・安心・快適に移動できる持続可能な社会」の実現を図ります。

【目指す将来像】

「誰もが、いつでも・どこでも、安全・安心・快適に移動できる持続可能な社会」

【関連する施策の方向性】

《全国・海外と連携する交通ネットワークの充実・強化》

- 県域を越えた連携を支える広域道路ネットワークの強化
- 国内外からの観光客の快適な広域周遊を実現する公共交通の利便性向上
- 災害時における広域的な代替道路網の整備

《県内各拠点を結ぶ交通ネットワークの充実・強化》

- 拠点間の連携・交流を支える道路ネットワークの強化
- 拠点間の移動を支える公共交通ネットワークの確保・充実
- 防災拠点間を相互に連絡する道路ネットワークの維持・強化

《地域を支える交通ネットワークの充実・強化》

- 暮らしの安全を確保する道路網の整備
- すべての人の暮らしを支える公共交通サービスの確保・充実
- 避難所周辺道路における防災対策

第5節 まちづくりの方向性

上位・関連計画の整理により、公共交通をとりまく益子町のまちづくりの方向性をまとめると、以下のことが言えます。

1. 公共交通のシームレス化

交通結節点の整備や公共交通事業者間の連携を強化するなど、乗り継ぎの改善や利便性の向上が必要です。

2. 公共交通の利用促進

まちづくり（産業や環境の振興、環境に優しい都市）との連携を図るための手段として、公共交通の利用促進が必要です。

3. 公共交通への財政的支援

公共交通を維持するための財政的支援が必要です。

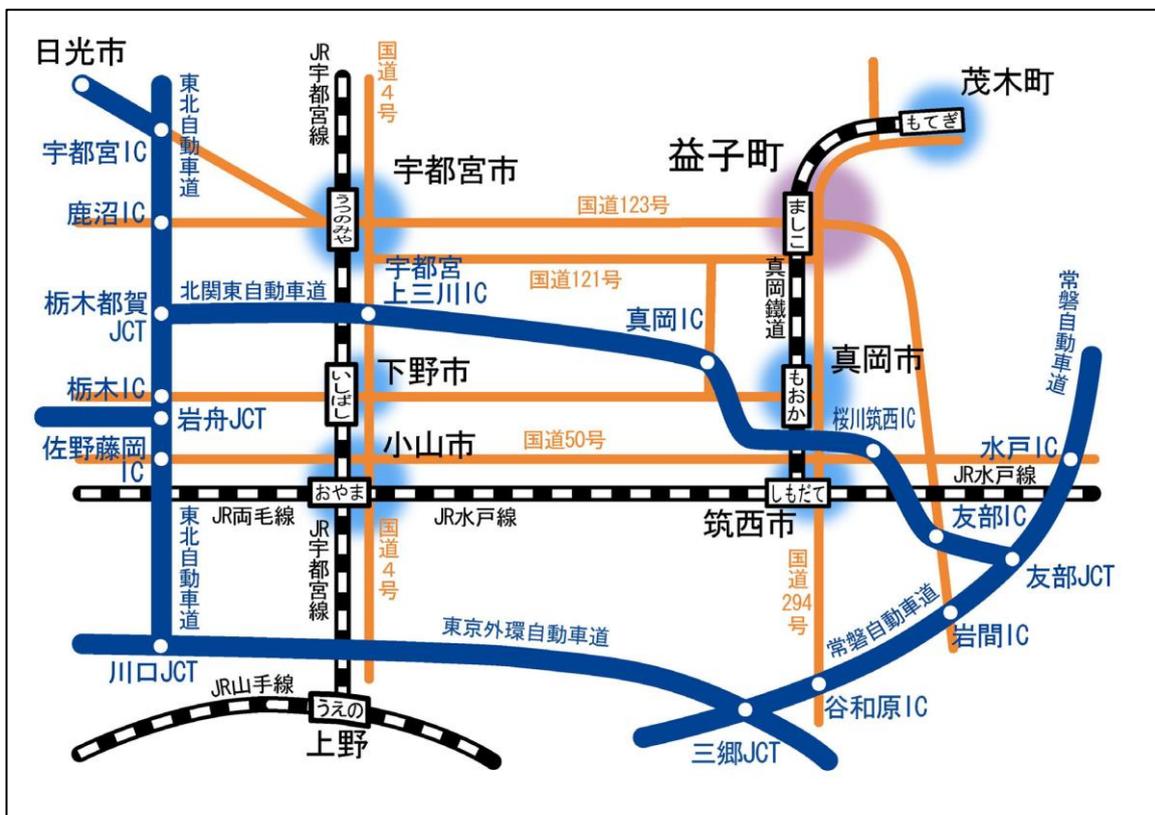
第3章 地域状況を踏まえた公共交通の現状と課題

第1節 益子町の位置・地勢

1. 位置

本町は栃木県の南東部に位置し、東京から約100km圏、県都宇都宮から20kmの場所に位置しています。

◆益子町の位置



2. 地勢

町内の約4割が山地や丘陵地で構成されており、町の西側には小貝川が南北に流れ、流域には平地が分布しています。町内には、益子県立自然公園があり、豊かな自然とふれあうことができる多くの憩いの場が整備され、公園内には史跡・文化財が数多く存在し、貴重な植物の北限の地としても知られています。

益子焼は全国的に知られる本町の主力産業として年間約180万人の観光客で賑わっており（令和2年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果）、現在窯元や陶芸品販売店の数は約300にのぼっています。

第2節 人口の状況

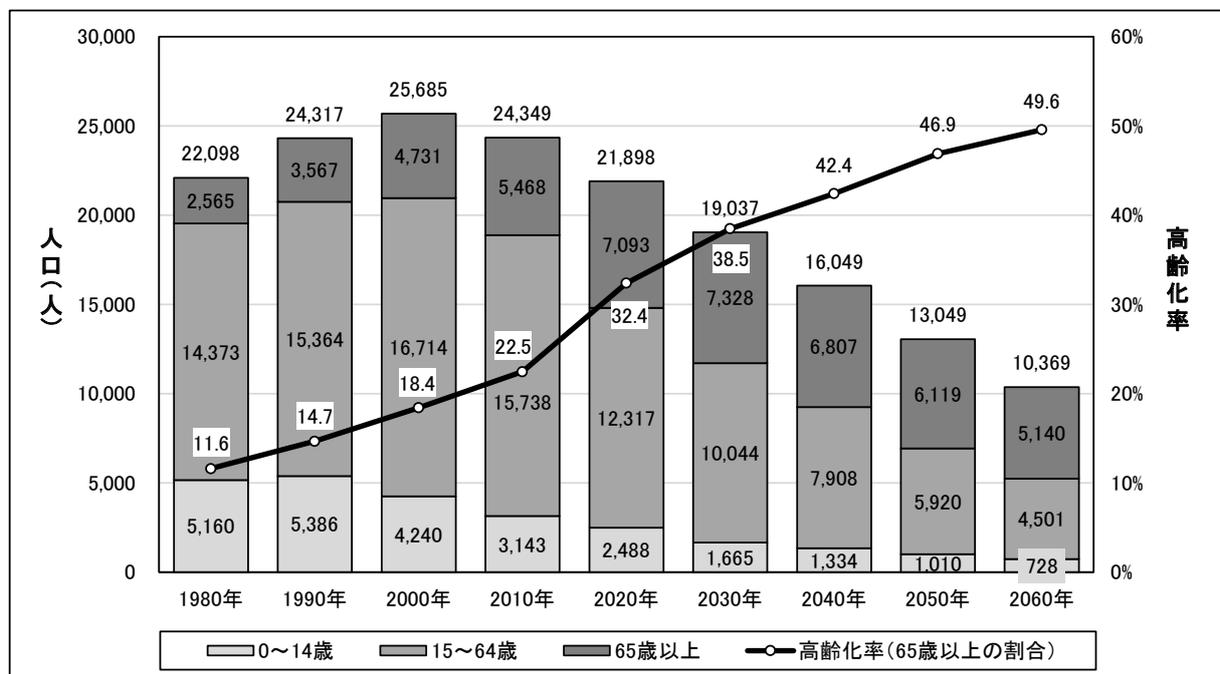
1. 人口及び推移

本町の人口は、2000（平成12）年の25,685人をピークに減少に転じており、転入者数と転出者数の差である社会動態が一時的に増加に転じた年もありましたが、出生者数と死亡者数の差である自然動態は減少し続けており、全体として1%程度の減少となる年が続いています。

「国立社会保障・人口問題研究所」の人口推計を踏まえ、2020（令和2）年の本町の人口から今後の人口を推計すると、20年後である2040年には人口はピーク時の6割程度となり、そのうち4割以上が65歳以上となる見込みとなっています。さらに、40年後である2060年には、人口はピーク時の4割程度となり、そのうち半数が65歳以上となる見込みとなっています。

少子高齢化の進展は、労働人口の減少に伴う生産性の低下や経済成長力の低下による経済規模の「縮小スパイラル」におちいる恐れが高まるほか、地域の担い手の減少による地域活力の低下や、医療・介護費を中心とした社会保障費の増大など、様々な社会的問題を引き起こすことが予想され、地域において安心して暮らせる社会をどのように実現していくかが大きな課題となっています。

◆益子町の人口（2030年以降は現状推移の場合の推計値）

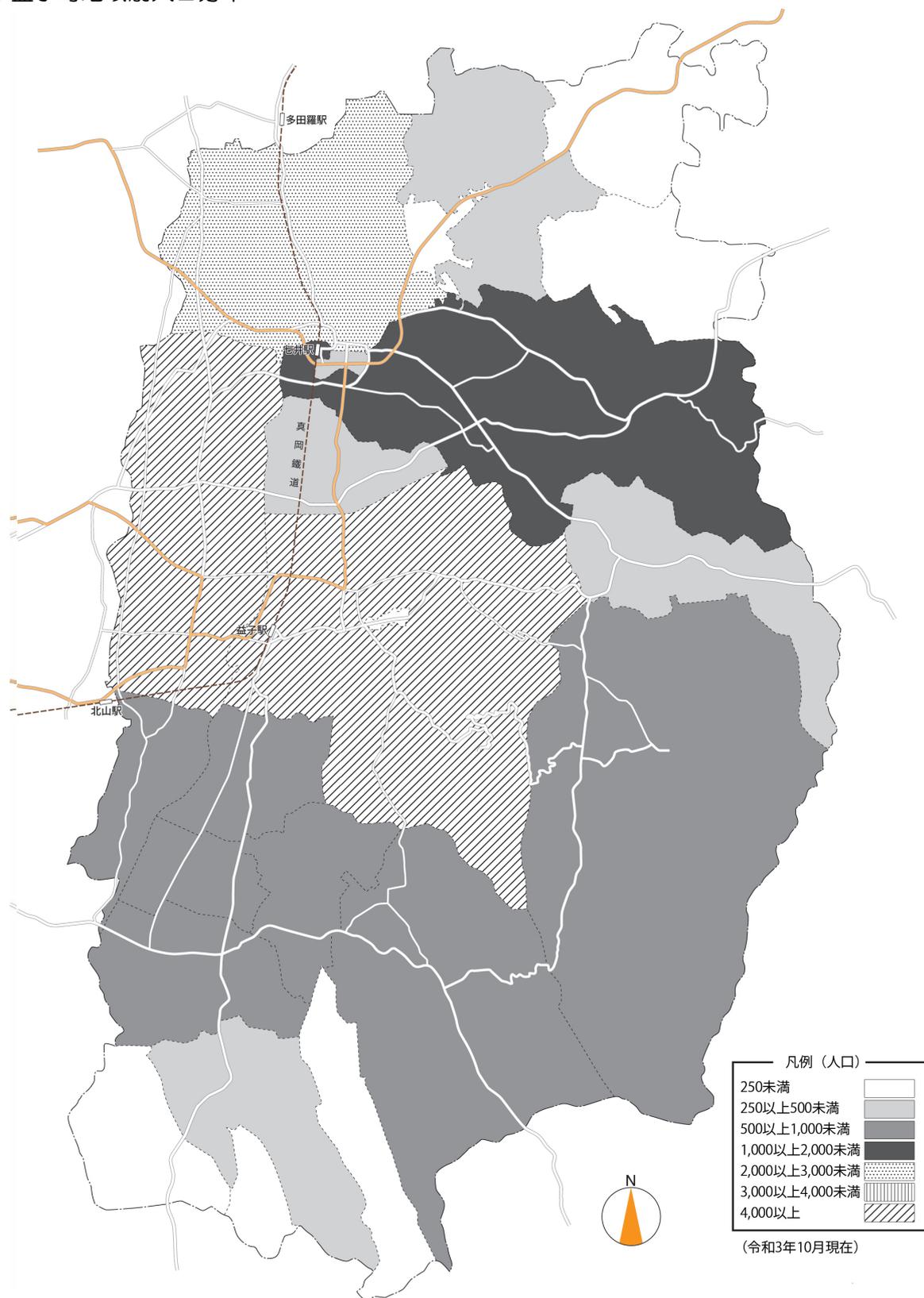


※2020年までは国勢調査による実績値、2030年以降は「国立社会保障・人口問題研究所」による推計を踏まえた益子町推計値

2. 人口分布

人口は益子市街地や七井市街地と埜地域を中心として、平野部の駅周辺及び幹線道路沿いに集中していますが、山間部にも広く住居が点在しています。

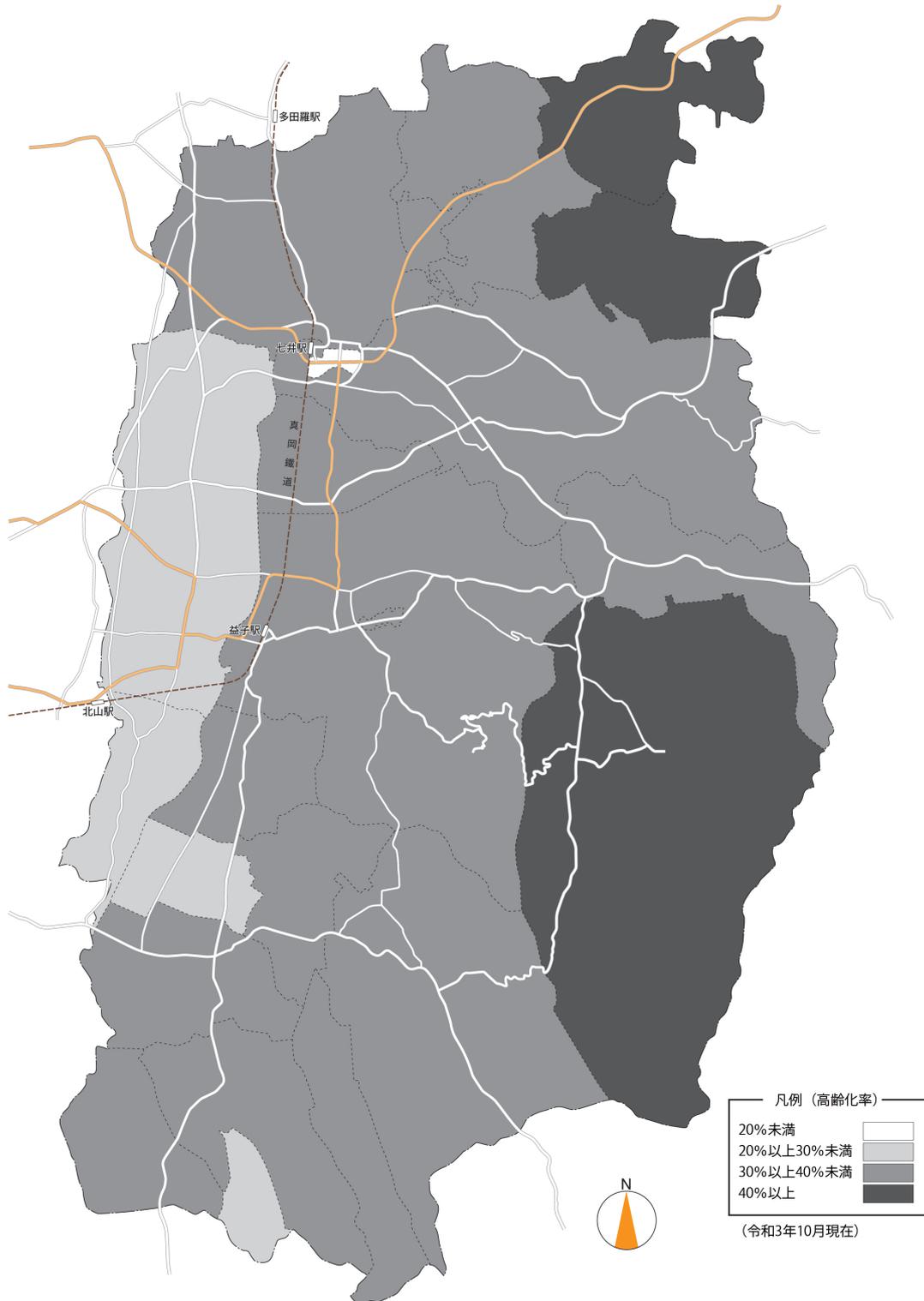
◆益子町地域別人口分布



3. 高齢化率

高齢化の状況には地域差が見られ、市街地に近い町の西部では高齢化率は低く、市街地から離れ山間部となる東部では高齢化率が高い状況です。また、町全体の高齢化率は平成28年11月時点では27.1%でしたが、令和3年10月時点では32.1%と5年間で5.0%上昇しています。

◆益子町地域別高齢化率



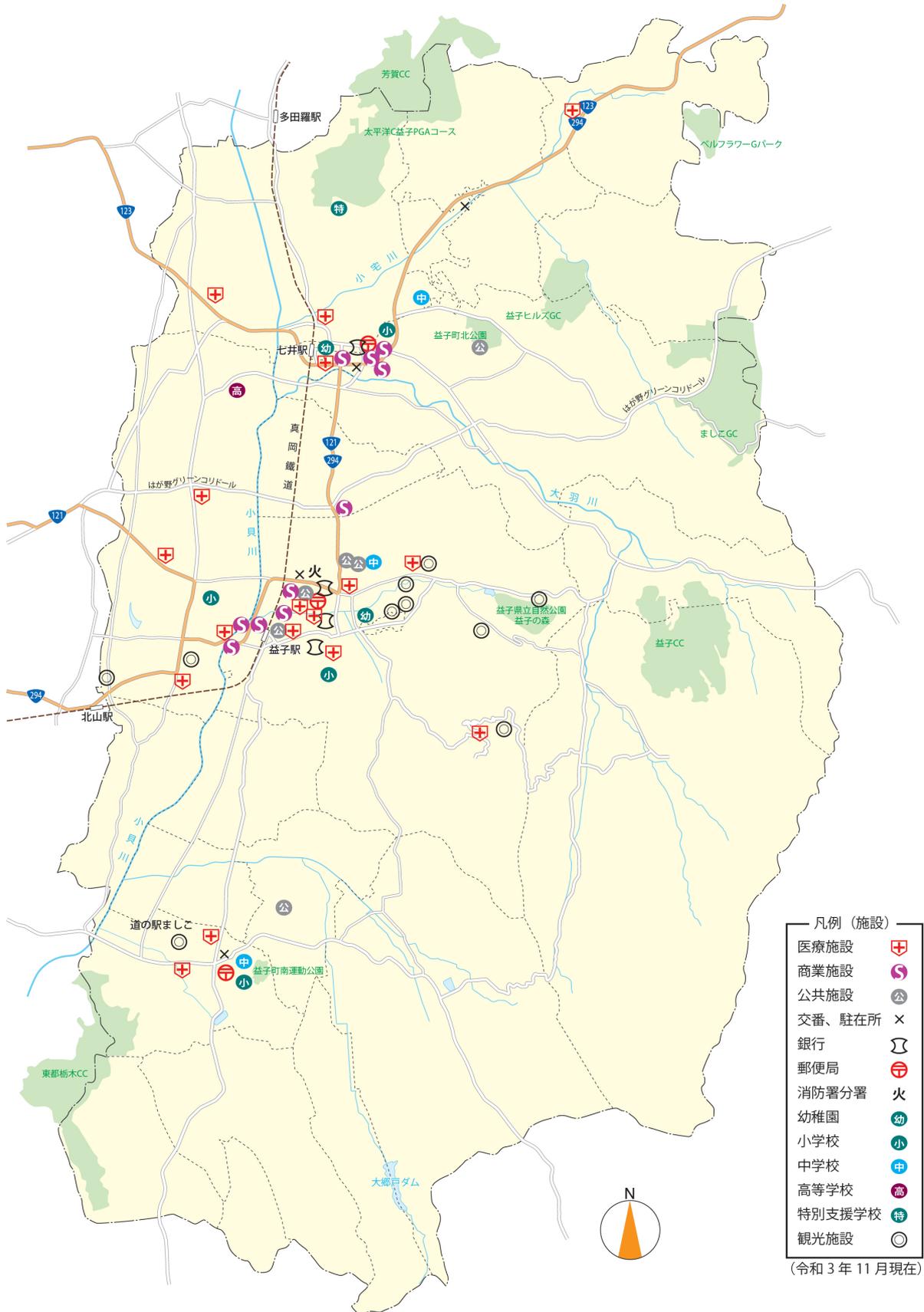
第3節 主要施設の状況

1. 主要施設の立地状況

施設種別	立地状況
医療施設	高齢者の主要な外出先のひとつである医療施設は、益子地区では7件、七井地区では2件の医療施設が立地しています。 一方で、田野地区では医療施設が1件と非常に少ない状況にあり、他地区への通院が見られます。
福祉施設	市街地及びその周辺を中心に施設の立地が見られますが、市街地から離れた地域にも立地が見られます。 (益子地区2件、七井地区2件、田野地区3件)
商業施設	益子地区、七井地区の中心にそれぞれ大型の商業施設があり、その周辺にはドラッグストアやホームセンターが点在しています。 一方で、田野地区には商業施設が無いことから、商業施設で買い物をするには他地区に移動する必要があります。
公共施設	町役場、町民会館、総合体育館等の公共施設は町の中心部の益子地区に立地していますが、運動公園については、七井地区、田野地区にも立地しています。
学校	小学校は益子地区2校、七井地区1校、田野地区1校、中学校は各地区1校ずつ、高等学校は益子地区に1校が立地しています。また、七井地区には小学部から高等部までの特別支援学校が立地しています。
観光施設	町の中心部には「益子焼」の芸術にふれられる陶芸メッセや窯元、陶芸品販売店等があるほか、全町的には観光農業の果樹団地、西明寺等の歴史的建造物が点在しています。 なお、平成28年10月15日には、益子駅から約5km離れた田野地区に「道の駅ましこ」が開業し、益子町内外における新たな観光交流拠点が形成されたほか、昭和48年に移築された平成館（旧南間荘）を宿泊施設として改修し、令和元年6月に「ましこ悠和館」が開館しました。

2. 主要施設の分布状況

◆主要施設の分布状況



第4節 公共交通の状況

1. 概況

益子町及び芳賀地域の通勤・通学の移動手段として、『真岡鐵道』が基幹軸として運行しており、町内には益子駅と七井駅の2駅が存在しています。少子化による学生数減少の影響を受け、利用客は年々減少傾向にあります。

益子市街地と七井市街地を経由して東武宇都宮駅を発着する『関東自動車』がもうひとつの基幹軸として運行しており、宇都宮市方面への通勤・通学を中心に多様な用途で利用されています。

小学校の統廃合による広域化に対応し、スクールバスが必要に応じ、町が指定した場所まで朝・夕運行していることにより児童の通学手段は確保されている状況です。

【スクールバス運行小学校：益子小学校、七井小学校、田野小学校】

「益子」と「笠間」への広域公共交通として、秋葉原と笠間、益子を結ぶ『関東やきものライナー』が毎日運行しており、首都圏から益子への観光の手段として利用されていることが推察されます。

益子陶器市開催時には、秋葉原駅と宇都宮駅から直行便のバスが運行しているほか、真岡鐵道利用者の利便性と陶器市開催箇所付近の交通渋滞を緩和するため、真岡鐵道及び益子駅西臨時駐車場利用者に対し、益子駅西臨時駐車場を発着する巡回バスが運行しています。令和2年度と令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で益子陶器市が中止となったため臨時便の運行はありませんでした。

益子駅や七井駅周辺にタクシー事業者が3社あり、1日平均で約5台が運行しています。利用状況から、地元町民に日常生活の中で利用されているほか、益子駅から観光地への利用が見られます。

バス・鉄道等の公共交通がない交通空白地域および交通弱者の生活交通手段の確保などを目的に『デマンドタクシー「ひまわり号」』を運行しています。益子町全域を「田野地区」「益子地区」「七井地区」に分けて運行しています。隣接する地区へは乗り継ぎなしで利用できますが、「七井地区」「田野地区」間の移動は、益子駅で乗り継ぐ必要があります。

令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による移動需要の減少、運休や減便の影響により、各公共交通ともに大幅な利用者減少となっています。各公共交通ともに利用促進を図るため、様々な取り組みが行われています。

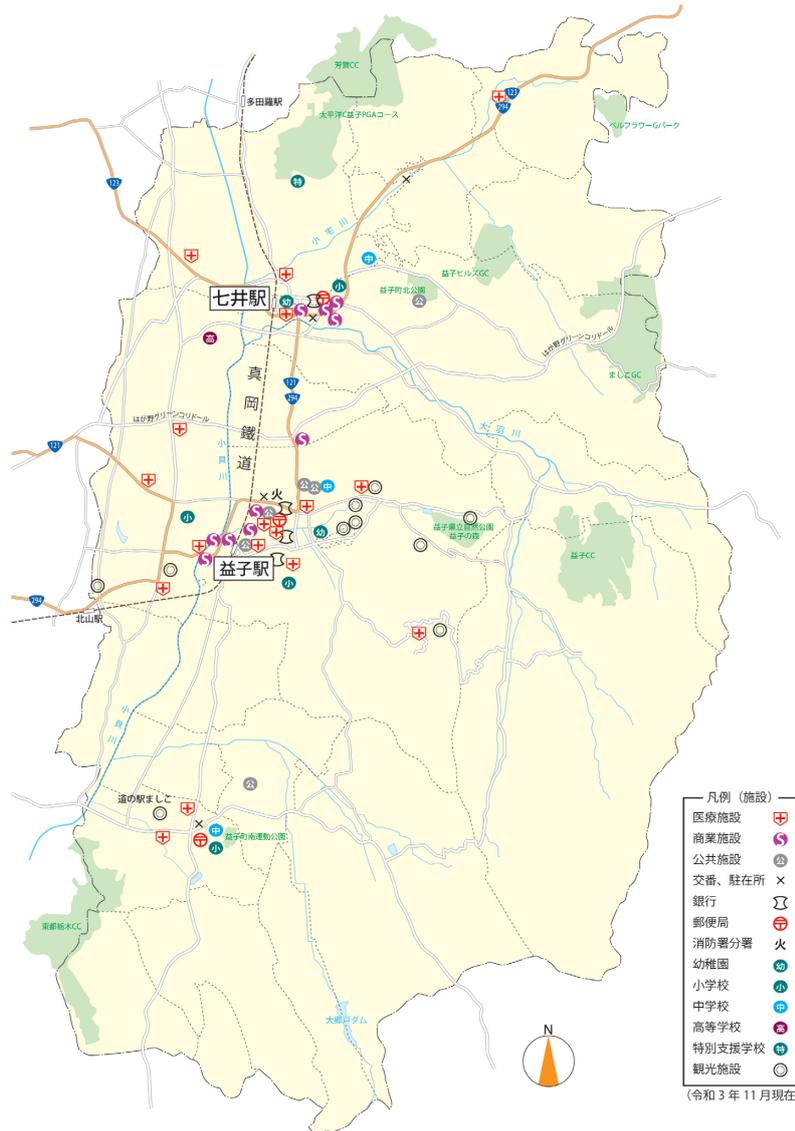
2. 真岡鐵道

(1) 運行状況

下館駅（茨城県筑西市）～茂木駅を走る真岡鐵道は、益子町を縦断するように運行されており、町内には益子駅と七井駅があります。

平日は23往復、休日は24往復し、休日を中心にSLが1往復運行しています。

◆真岡鐵道の状況



◆真岡鐵道運行状況（平成30年3月27日ダイヤ改正）

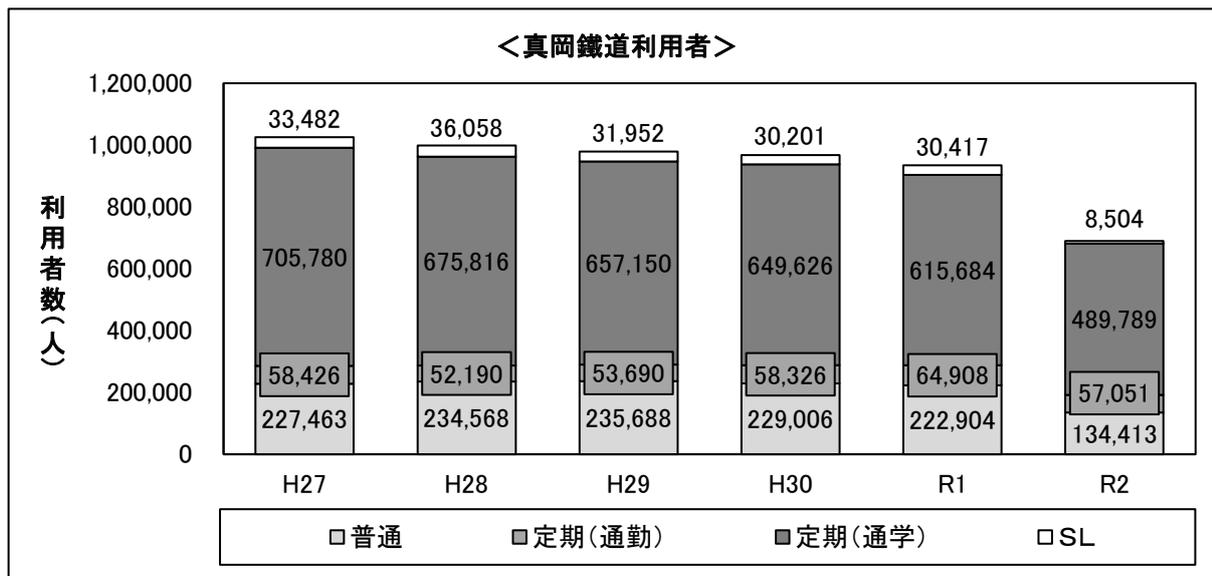
運行日	運行本数						備考
	上り			下り			
	下館行	真岡行	計	下館発	真岡発	計	
平日	19	4	23	21	2	23	
土日祝日	20	4	24	22	2	24	下館発着1本SL運行

(2) 利用状況

真岡鐵道の利用者数は減少傾向にあります。利用者の多くが定期利用であり、通勤や通学以外の目的では観光客による利用が見られます。また、少子化による学生数減少の影響を受け、通学での利用者も減少傾向にあります。

令和2年度は大幅な利用者減少となっていますが、新型コロナウイルス感染症による移動需要の減少が影響していることが推測されます。

◆真岡鐵道利用者数



年度	真岡鐵道利用者 (単位: 人)				
	普通	定期		S L	計
		通勤	通学		
平成27年	227,463	58,426	705,780	33,482	1,025,151
平成28年	234,568	52,190	675,816	36,058	998,632
平成29年	235,688	53,690	657,150	31,952	978,480
平成30年	229,006	58,326	649,626	30,201	967,159
令和元年	222,904	64,908	615,684	30,417	933,913
令和2年	134,413	57,051	489,789	8,504	689,757

(3) 利用客増加への取り組み

真岡鐵道では利用者数や運賃収入の減少傾向に対し、利用客の減少を抑え、増加を図るため、駐車場や駐輪場の整備、レンタサイクル、イベント開催等、様々な取り組みを進めています。

3. 関東自動車（旧東野バス）

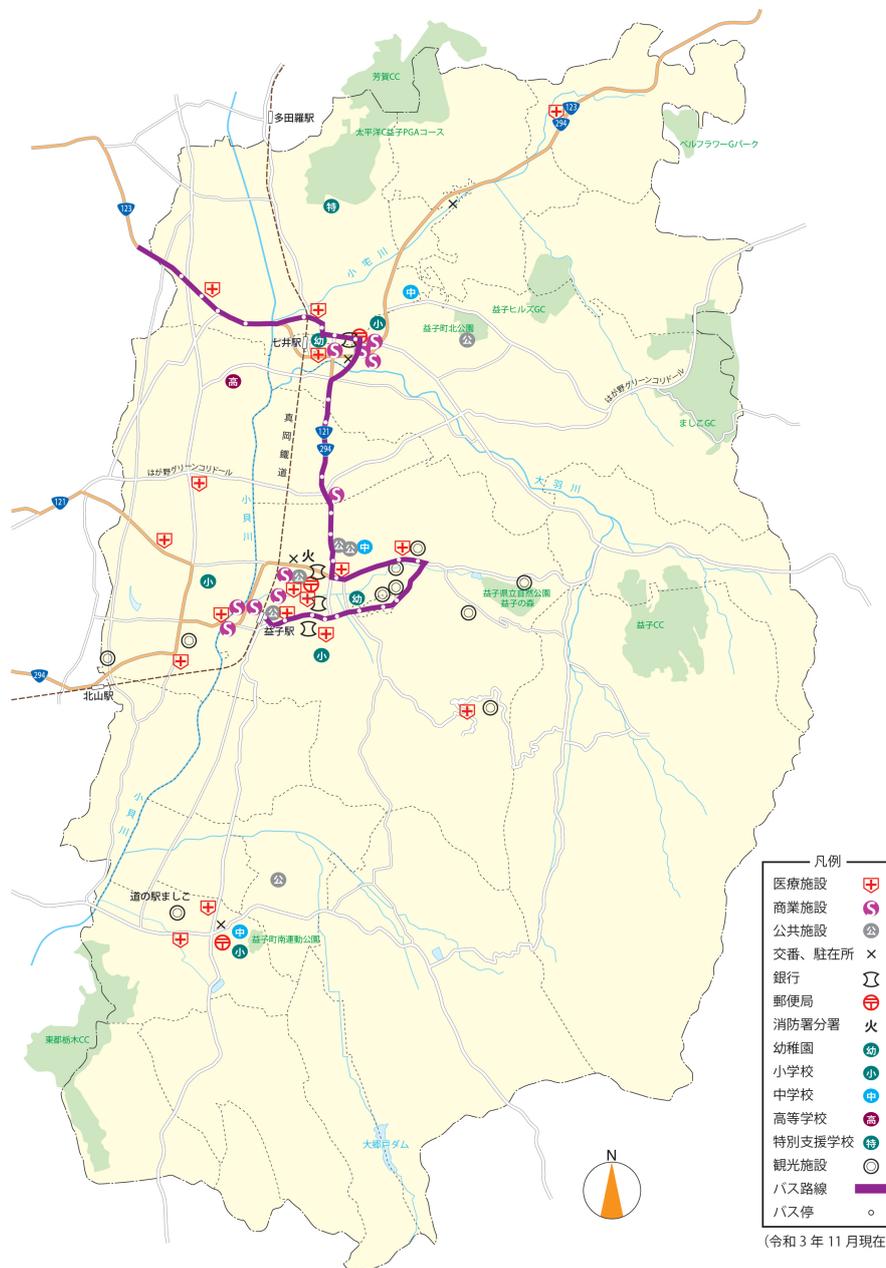
(1) 運行状況

町内を走る路線バスとして、益子駅～東武宇都宮駅を運行する関東自動車があります。

令和3年10月1日より、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、平日は14往復、土曜日は13往復、休日は6往復運行しています。

なお、この路線は現在、地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）の補助を受けておりますが、今後も同補助制度の活用により、町外への重要な交通手段の1つとして維持していきます。

◆バス路線の状況



(2) 利用状況

令和2年度と令和3年度は新型コロナウイルス感染症に伴う減便の影響により利用者数が大幅に減少しています。

益子町内を走る唯一の路線バスとして、益子市街地と七井市街地を経由して東武宇都宮駅を発着とする関東自動車が行っており、宇都宮市方面への通勤・通学を中心に多様な用途で利用されています。

益子町内のバス停で乗降する利用客は全体として市街地で多く、特に、益子駅前、七井局前、星の宮入口の利用が多くなっています。

一方で、郊外に行くほど利用客が少ない状況になっています。

益子町内をバスで移動している利用者は非常に少ない状況で、下り（益子駅前行）は夕方、上り（宇都宮東武行）は朝の利用が多くなっており、宇都宮方面への通勤や通学等の目的で利用されている交通となっています。

◆関東自動車運行状況（1日の利用者数）

調査実施日	上り（宇都宮東武行）			下り（益子駅前行）		
	益子町内乗車人数	益子町内降車人数	町内移動利用率※	益子町内乗車人数	益子町内降車人数	町内移動利用率※
平成30年6月6日	86	3	3.5%	5	98	5.1%
令和元年6月4日	88	4	4.5%	9	56	16.1%
令和2年7月8日	41	2	4.9%	3	63	4.8%
令和3年6月28日	70	3	4.3%	4	72	5.6%

※町内移動利用率：益子町でバスを利用した方で町内の移動に利用した方の割合

◆運行便別の利用者数（1日の利用者数）

上り（宇都宮東武行）		下り（益子駅前行）	
始発時間	町内乗車人数	始発時間	町内降車人数
6:00	16	7:00	7
6:35	17	8:20	2
7:40	13	9:20	0
8:30	3	10:20	3
9:05	1	11:20	1
10:15	4	12:20	0
11:05	4	13:20	0
12:05	3	14:20	11
13:05	2	15:20	13
14:05	1	16:20	12
15:05	1	17:20	10
16:05	4	18:20	5
17:05	1	19:20	6
18:05	0	20:20	2
合計	70	合計	72

（令和3年6月28日時点）

※令和3年10月1日にダイヤ変更あり

（3）利用客増加への取り組み

バス・LRT・鉄道などの公共交通機関を使った移動が、よりスムーズ・快適になることを目指し、2021年3月21日（日）より地域連携ICカード「totra（トトラ）」のサービスを開始しました。

4. スクールバス

(1) 運行状況

小学校の統廃合による学区の広域化に対応し、スクールバスが必要に応じ、町が指定した場所まで朝・夕運行していることにより児童の通学手段は確保されている状況です。

スクールバスを運行している町内の3つの小学校（七井小学校、益子小学校、田野小学校）とも2つのコースがあり、片道の所要時間は30分前後となっています。

益子西小学校は、スクールバスの運行はありません。

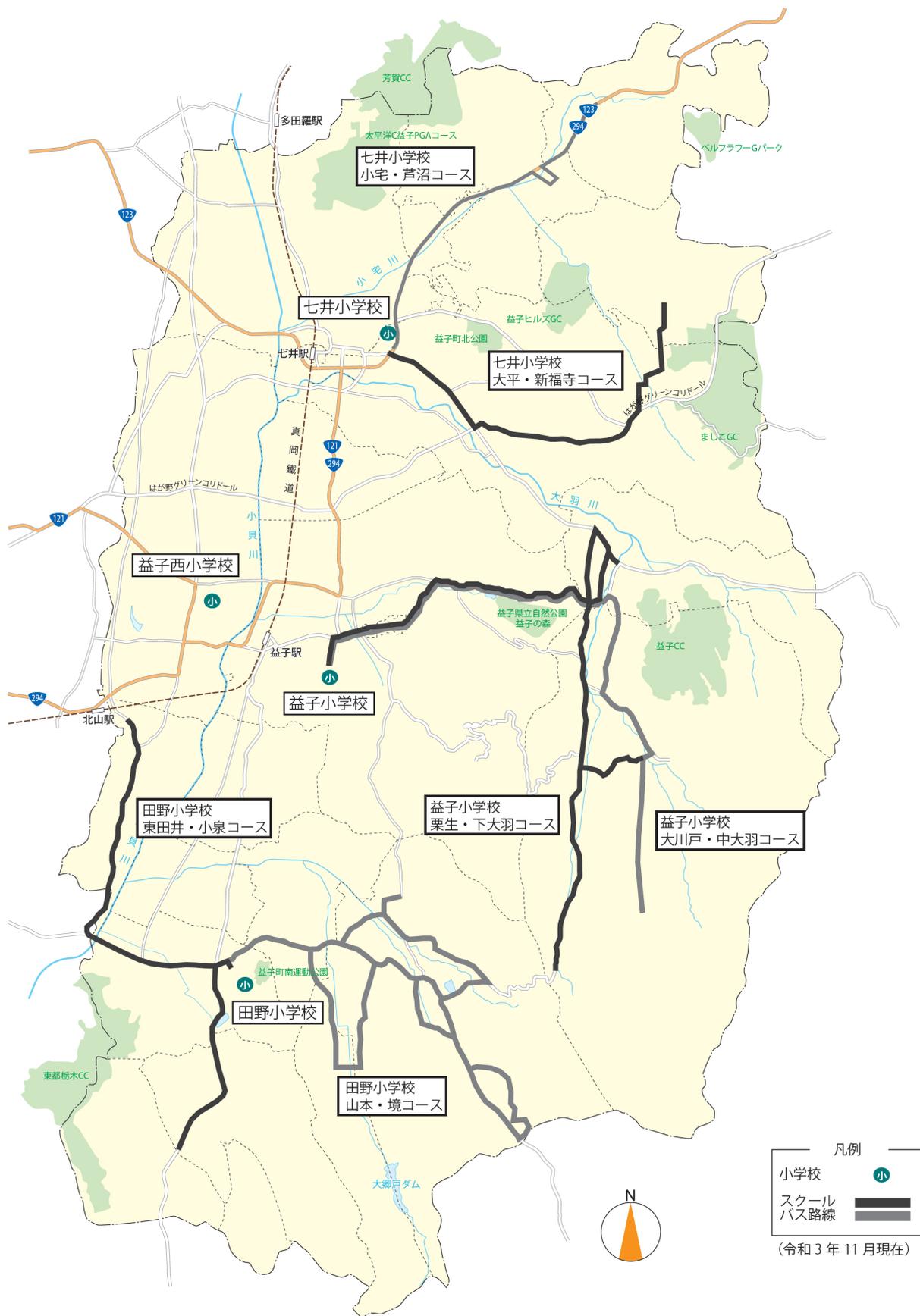
(2) 利用状況

◆スクールバス運行状況

学校名	コース名	距離 (片道)	停留所数	所要時間 (片道)	利用 児童数
七井小学校	小宅・芦沼コース	11.8km	7箇所	25分	38名
	大平・新福寺コース	11.0km	2箇所	17分	8名
益子小学校	栗生・下大羽コース	18.8km	7箇所	36分	24名
	大川戸・中大羽コース	15.6km	4箇所	25分	24名
田野小学校	東田井・小泉コース	7.5km(東田井)	3箇所	19分	38名
		6.1km(小泉)	2箇所	13分	21名
	山本・境コース	11.9km(山本)	12箇所	25分	42名
		6.6km(境)	3箇所	18分	9名
合計	6コース				204名

(令和3年度)

◆スクールバス運行ルート図



5. 関東やきものライナー

(1) 運行状況

茨城交通では、焼き物で有名な「益子」と「笠間」への広域公共交通として、秋葉原と笠間、益子を直接結び高速バス「関東やきものライナー」を毎日運行しています。運行本数は、益子までは平日上り6本下り5本、休日は上り7本下り6本運行しています。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大による移動需要の減少に伴い、2022年1月10日より1日1往復のみ運行

(2) 利用状況

令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴う運休・減便の影響により利用者数が大幅に減少しているため、令和元年度の利用者数を併せて掲載します。

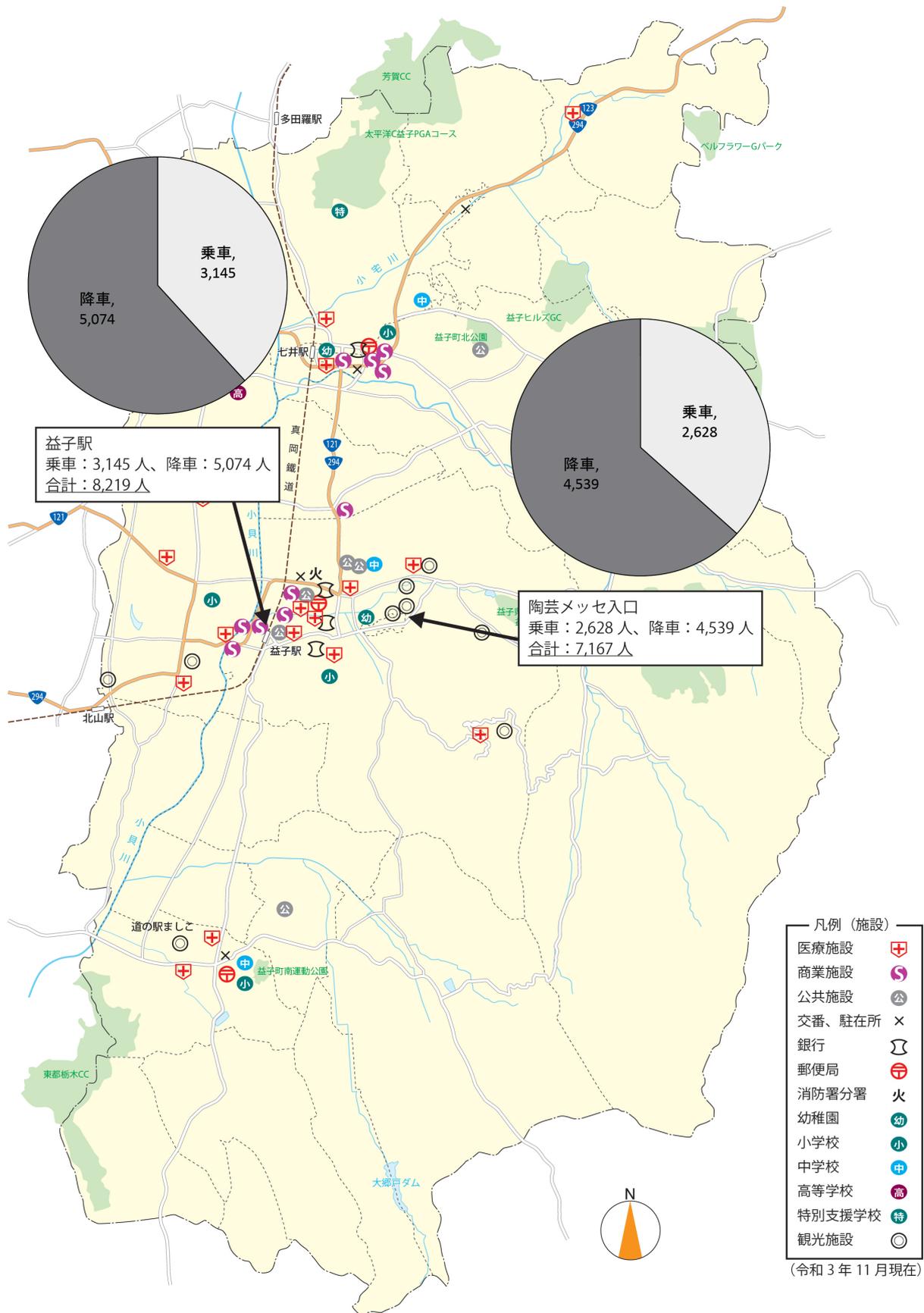
益子町内には「益子駅」と「陶芸メッセ入口」の2つのバス停があり、益子駅での乗降のほうが多くなっています。また、早朝の便の下り（秋葉原駅発）、夕方の便の上り（益子駅発）の利用が多くなっているのは首都圏方面からの観光客の利用と考えられます。

◆関東やきものライナー運行状況

上り 益子駅発	益子駅		陶芸メッセ入口		路線全体		町内利用割合	
	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度
1便	857	-	165	-	6,368	-	16.0%	-
2便	704	41	150	6	6,702	344	12.7%	13.7%
3便	231	-	35	-	2,332	-	11.4%	-
4便	824	337	255	121	6,218	1,913	17.4%	23.9%
5便	692	22	207	7	4,708	72	19.1%	40.3%
6便	628	0	355	3	3,264	17	30.1%	17.6%
7便	3,145	6	1,461	2	7,649	30	60.2%	26.7%
合計	7,081	406	2,628	139	37,241	2,376	26.1%	22.9%

下り 秋葉原駅発	陶芸メッセ入口		益子駅		路線全体		町内利用割合	
	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度	R1年度	R2年度
1便	3,519	2	1,479	7	8,623	29	58.0%	31.0%
2便	397	31	1,224	69	6,945	374	23.3%	26.7%
3便	136	-	573	-	3,895	-	18.2%	-
4便	179	128	790	343	5,510	1,907	17.6%	24.7%
5便	73	0	204	0	1,805	4	15.3%	0.0%
6便	235	5	804	17	6,455	101	16.1%	21.8%
7便	-	-	-	-	4,803	17	-	-
合計	4,539	166	5,074	436	38,036	2,432	25.3%	24.8%

◆ 関東やきものライナー 益子町内乗降者数（令和元年度）

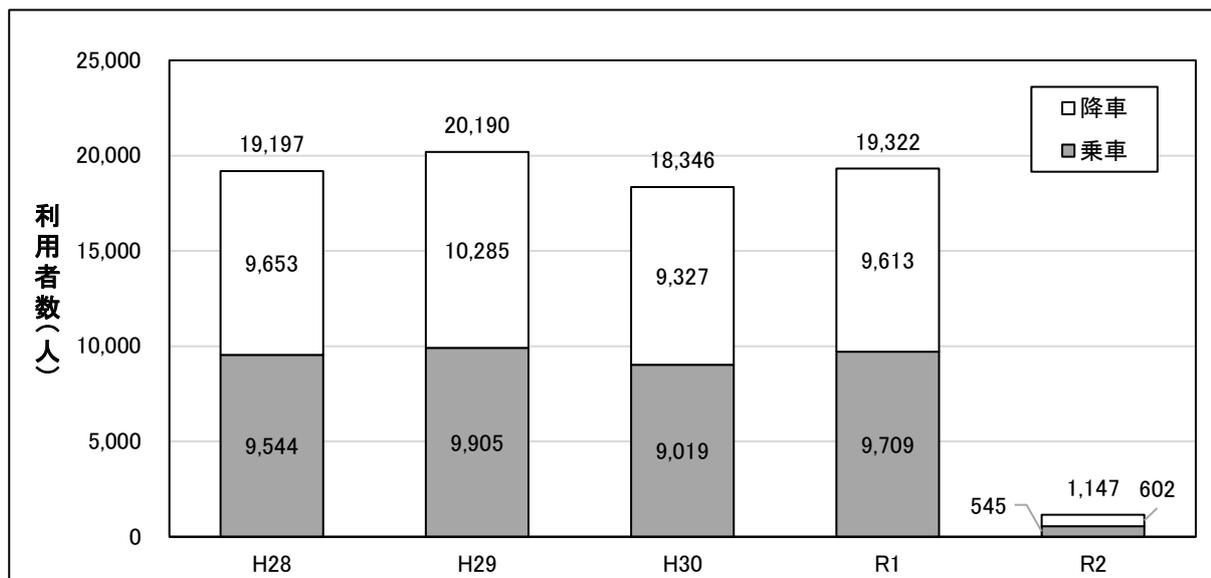


(3) 利用者数の推移

新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年2月より利用者数に大きな影響が出ています。

令和2年1月までは順調に利用者を伸ばしていたため、状況が改善すれば益子町内における広域交通としての役割が高まることが想定されます。

◆関東やきものライナー年間利用者数



(4) 利用客増加への取り組み

秋葉原駅発の観光客に対し、笠間、益子の「かさましこ協賛店」で様々なサービスが受けられる2日間有効のクーポンパスを発行しており、レンタサイクルの利用割引や各種プレゼント等のサービスが受けられます。(令和3年11月17日現在：16店舗)

6. 観光シーズンの臨時バス

(1) 運行概要

ゴールデンウィークと秋の文化の日周辺に、益子町内各所で開催される「益子陶器市」は、年間60万人もの観光客が訪れる一大観光イベントです。そのため、各運行事業者が直行便等の臨時便を運行しているほか、陶器市周辺を周遊するための巡回バス等が運行しており、各交通手段で来訪する観光客の移動手段として活躍しています。

令和2年度と令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で益子陶器市が中止となり、臨時バスの運行はありませんでした。以下は、令和元年11月時点の情報を掲載しています。

(2) 益子直行バス

JR宇都宮西口～益子駅間を運行している関東自動車の臨時便として、JR宇都宮駅東口と陶器市の中心地（城内坂交差点北）を結ぶ直行便が、陶器市開催時の土日祝日に1日1往復運行しています。

おすすめ		益子直行バス(臨時) JR宇都宮駅東口⇄益子 運賃:片道1,170円	
運行日:11月2日(土)～11月4日(月・祝)			
運行時間:9時00分発(JR宇都宮駅東口)→10時00分着予定(城内坂交差点北)			
16時30分発(城内坂交差点北)→17時30分着予定(JR宇都宮駅東口)			
※交通状況により到着時間の遅れ、経路変更がございます。予めご了承ください。			
関東自動車(JR宇都宮駅西口⇄益子駅) 片道1,170円		毎日運行	
JR宇都宮駅西口→益子駅			
JR宇都宮駅西口	*7:08	8:28	9:28 10:28 11:28 12:28 13:28 14:28 15:33 (15:28)
益子駅	*8:13	9:33	10:33 11:37 12:37 13:37 14:37 15:37 16:42 (16:37)
JR宇都宮駅西口	16:33 (16:28)	17:33 (17:28)	18:28 19:28 20:28*21:48
益子駅	17:42 (17:37)	18:42 (18:37)	19:37 20:37 21:33 (21:28)*22:48
益子駅→JR宇都宮駅西口			
益子駅	*6:00	6:35	*7:00 7:40 8:30 9:05 10:05 11:05 12:05
JR宇都宮駅西口	*6:59	7:39 (7:31)	*8:02 8:42 (8:36) 9:34 (9:33) 10:09 (10:08) 11:09 (11:08) 12:09 (12:08) 13:09 (13:08)
益子駅	13:05	14:05	15:05 16:05 17:05 18:05*19:05
JR宇都宮駅西口	14:09 (14:08)	15:09 (15:08)	16:09 (16:08) 17:09 (17:08) 18:09 (18:08) 19:06 (19:01)*20:06
※は土日祝日運休、()は土日祝日発着時間 ※交通状況によりダイヤの乱れが生じる場合がございます。予めご了承ください。			

出典：令和元年秋陶器市

(3) 西明寺シャトル便

国の重要文化財に指定されている「西明寺」に観光客が足を伸ばせるよう、「城内坂交差点付近（塚本油店前）」と「西明寺」を結ぶシャトル便が無料で1日4便運行しています。

無料		城内坂交差点塚本油店前⇄西明寺 シャトル便運行(約4分)			
運行日:11月1日(金)～11月5日(火)					
塚本油店前発	MAP 西 a-4	11:00	12:00	13:00	14:00
西明寺発	MAP 西 D-9	11:50	12:50	13:50	14:50

出典：令和元年秋陶器市

(4) 関東やきものライナー高速バス益子直行バス

秋葉原駅～益子駅間を運行している高速バス「関東やきものライナー」の臨時便として、同区間を結ぶ直行便が、陶器市開催時の土日祝日に1日1往復運行しています。また、陶器市の期間中の午前中のみ「陶器市会場入口」での降車が可能になります。

おすすめ 茨城交通 関東やきものライナー 高速バス
益子直行バス (臨時) 秋葉原駅 ⇄ 益子駅
 運行日: 11月2日(土)～11月4日(月・祝)
 運賃: 片道2,150円(2枚チケット3,800円)
 運行時間: 7時30分発(秋葉原駅)→10時30分着予定(益子駅)
 16時00分発(益子駅)→19時00分着予定(秋葉原駅)

※交通状況により到着時間が遅れる場合がございます。
 ※定員が決まっておりますので、ご乗車になれない場合がございます。予めご了承ください。

関東やきものライナー 高速バス **毎日運行**
 秋葉原駅⇄益子駅 片道2,150円(2枚チケット3,800円)

上り 益子⇄秋葉原	乗車のみ 益子駅	6:30 7:10	◎7:45	8:20 9:20	12:50 16:00
	乗車のみ 陶芸メッセ入口	6:33 7:13	◎7:48	8:23 9:23	12:53 16:03
	乗車のみ 笠間ショッピングセンター	7:10 7:50	◎8:25	9:00 10:00	13:30 16:40
	降車のみ 秋葉原駅	9:20 10:00	◎10:40	11:20 12:20	15:50 19:10
下り 秋葉原⇄益子	乗車のみ 秋葉原駅	8:20 15:10	16:00 17:00	◎17:45	18:40
	降車のみ 笠間ショッピングセンター	10:10 17:00	17:50 18:50	◎19:35	20:30
	降車のみ 陶器市会場入口	陶器市期間中の午前便のみ降車できます <small>※降車専用バス停</small>			
	降車のみ 陶芸メッセ入口	10:47 17:37	18:27 19:27	◎20:12	21:07
	降車のみ 益子駅	10:50 17:40	18:30 19:30	◎20:15	21:10

◎土日祝日のみ運行
 ※先着順座席定員制のため、満員でご乗車いただけないこともございます。予めご了承ください。
 ※春・秋の益子陶器市期間中の座席予約は出来ません。

出典：令和元年秋陶器市

(5) 巡回バス

真岡鐵道利用者の利便性と陶器市開催箇所付近の交通渋滞を緩和するため、益子町観光協会が主体となり、真岡鐵道及び益子駅西臨時駐車場利用者に対し、「益子駅西臨時駐車場」を発着する(町内)巡回バスが土日祝日に約20分間隔で運行しています。

おすすめ 巡回バス 運賃: 1回100円 ※交通状況により運行時間が不定期になる場合もあります。

運行日: 11月2日(土)～11月4日(月・祝)
 運行時間: 9時40分～16時20分までの間、約20分間隔で運行

益子駅西臨時駐車場発	9:40	10:00	10:20	10:40	11:00	11:20	11:40	12:00	12:20	12:40	13:00	13:20
つかもと発	10:15	10:35	10:55	11:15	11:35	11:55	12:15	12:35	12:55	13:15	13:35	13:55
益子駅西臨時駐車場発	13:40	14:00	14:20	14:40	15:00	15:20	15:40	16:00	16:20			
つかもと発	14:15	14:35	14:55	15:15	15:35	15:55	16:15	16:35	16:55			

出典：令和元年秋陶器市

7. タクシー

(1) 運行状況

益子町や七井駅周辺にタクシー事業者が3社あり、1日平均で約5台が運行しています。

◆タクシー運行台数

タクシー会社	車両保有台数(台)			運行台数 (台/日)
	セダン	ワゴン	バス	
タクシー会社A	4	1	0	2.14
タクシー会社B	3	1	2	2.00
タクシー会社C	2	0	0	1.00
合計	9	2	2	5.14

(2) 利用状況

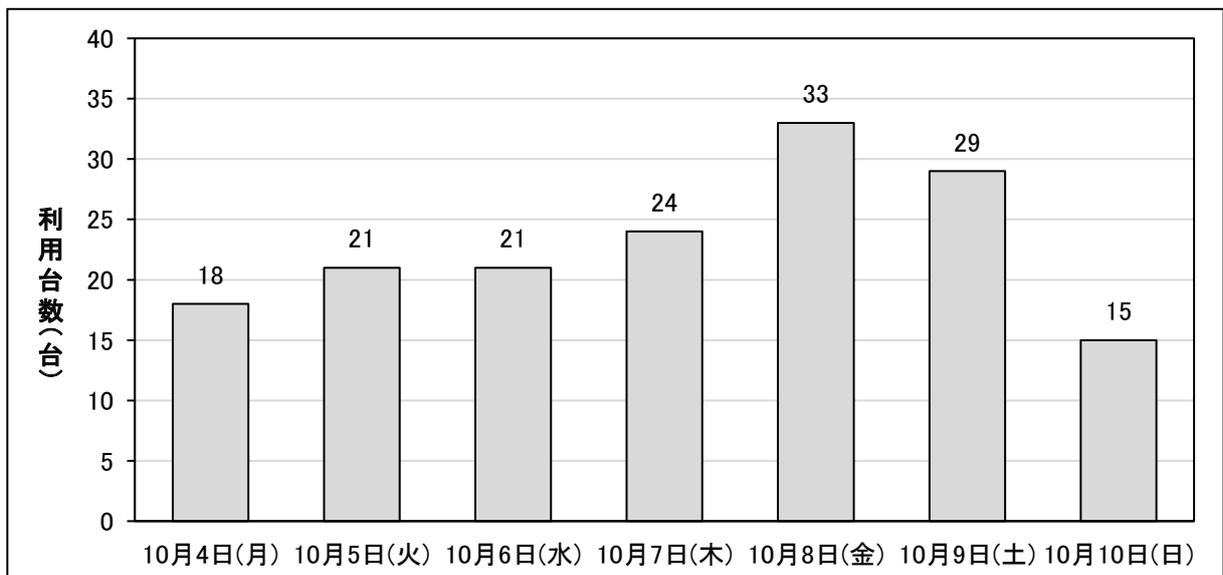
3社のタクシーの利用回数は、前回調査時と比較して大幅に減少しています。
新型コロナウイルス感染症による移動需要減少が影響していることが推測されます。

【前回調査】	平成28年9月(7日間)	309件
【今回調査】	令和3年10月(7日間)	161件

①利用日

タクシーの利用台数を曜日別にみると、金曜日と土日に多く利用されています。

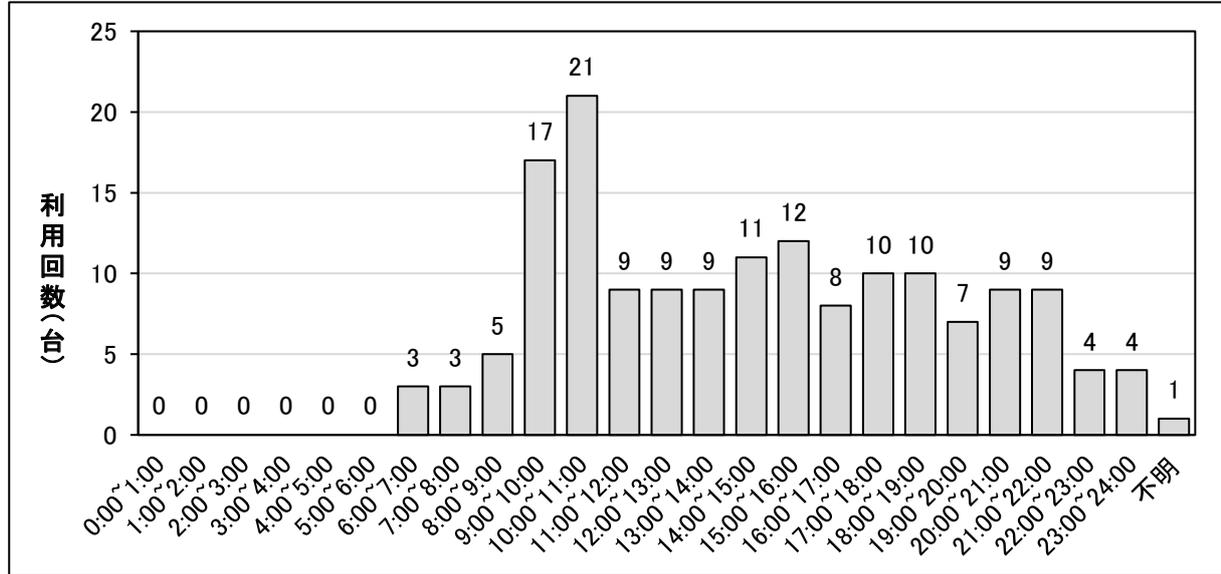
◆タクシー曜日別利用台数(令和3年10月4日~10日調査)



②利用時間帯

タクシーの利用台数を時間帯別にみると、午前9時・10時台の利用が多くなっています。また、デマンドタクシーの運行時間外の17時以降の利用も多く見られます。

◆タクシー時間帯別利用台数（令和3年10月4日～10日調査）



③出発地と目的地

タクシーの利用台数を出発地と目的地別にみると、益子地区内の移動が90件(55.9%)と最も多くなっています。次いで、七井地区内の移動が17件(10.6%)、益子地区から田野地区への移動が9件(5.6%)、益子地区から真岡市への移動が7件(4.3%)となっています。

◆タクシーの地区間移動台数（令和3年10月4日～10日調査）

		出発地					
		益子地区	七井地区	田野地区	真岡市	芳賀町	市貝町
目的地	益子地区	90	2	3	3	0	0
	七井地区	6	17	1	0	1	0
	田野地区	9	1	0	1	0	0
	真岡市	7	2	2	0	0	0
	芳賀町	0	0	0	0	0	0
	市貝町	0	1	0	1	0	0
	宇都宮市	5	0	1	1	0	0
	茂木町	2	0	0	0	0	0
	上三川町	0	0	0	0	0	0
	笠間	0	0	0	0	0	0
	その他	1	0	2	0	0	0
	不明						2

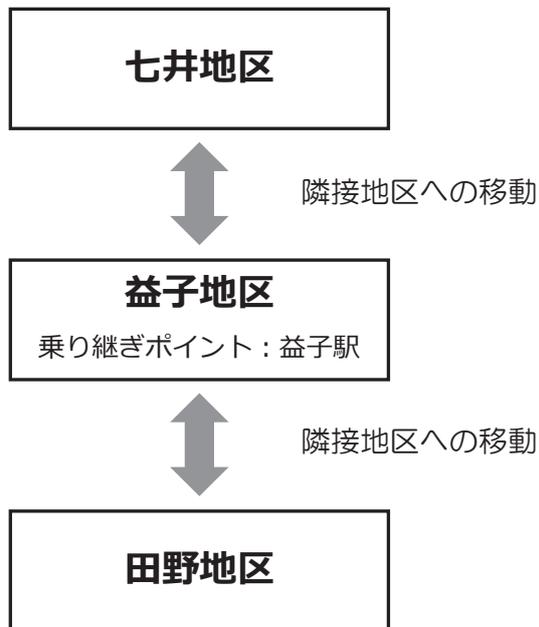
8. デマンドタクシー

(1) 運行状況

田野地区、益子地区、七井地区に分けて「益子町全域」を運行しています。隣接する地区へは乗り継ぎなしで利用できますが、田野地区⇄七井地区への移動は、益子駅で乗り継ぐ必要があります。

運行本数は、日曜日、祝日、年末年始(12/29~1/3)を除く毎日、1日8便(8:00、9:00、10:00、11:00、13:00、14:00、15:00、16:00)運行しています。

運行については、町内のタクシー会社である、七井タクシー・益子タクシー・新光タクシーの3社が担っています。なお、デマンドタクシーは現在、地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)の補助を受けておりますが、今後も同補助制度の活用により、町内における重要な交通手段の1つとして維持していきます。



◆デマンドタクシー運行エリア

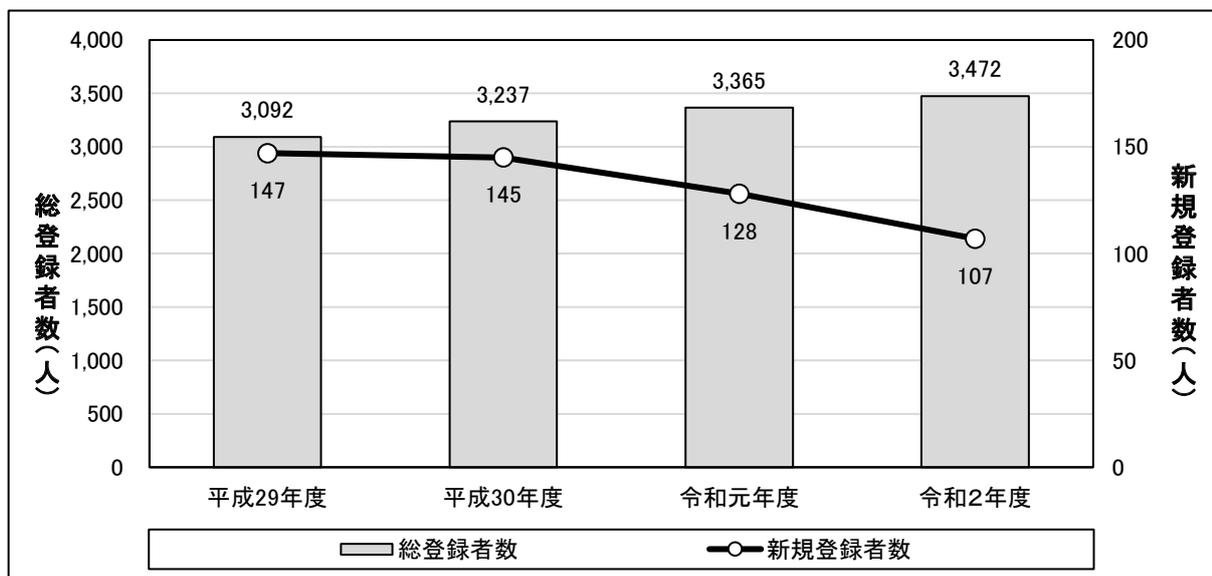
		目的地		
		七井地区	益子地区	田野地区
出発地	七井地区	乗り継ぎなし	乗り継ぎなし	乗り継ぎあり (乗り継ぎポイント)
	益子地区	乗り継ぎなし	乗り継ぎなし	乗り継ぎなし
	田野地区	乗り継ぎあり (乗り継ぎポイント)	乗り継ぎなし	乗り継ぎなし

(2) 利用状況

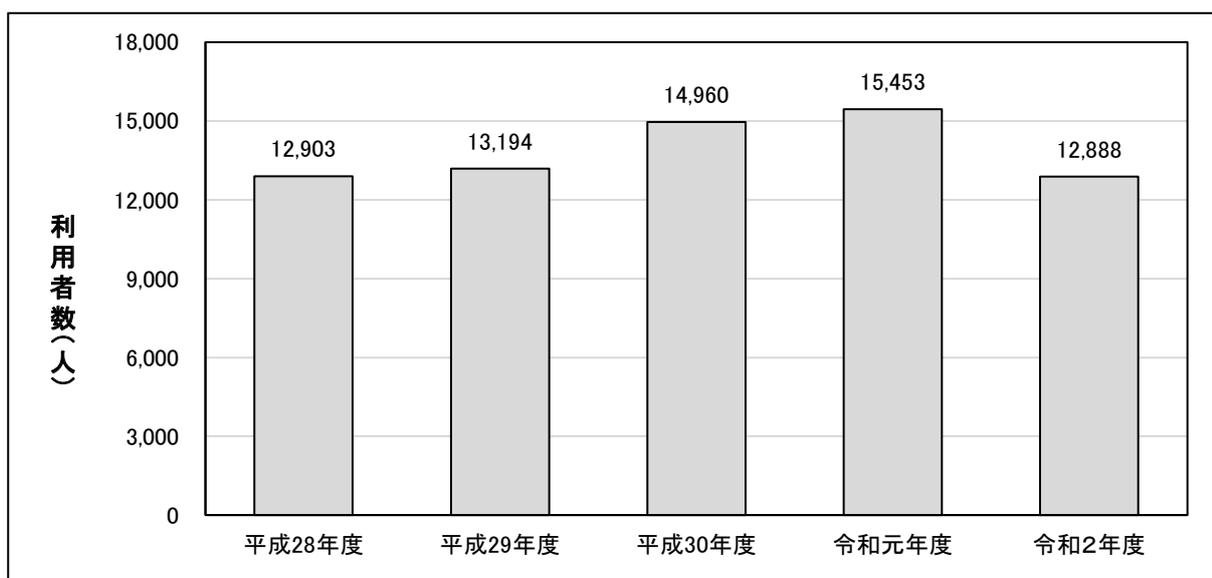
デマンドタクシーは、着実に利用登録者数を伸ばしており、利用者は平成28年度から令和元年度まで年々増加しています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が大きく減少していますが、他の公共交通機関に比べると減少率は低く抑えられています。

月別の利用者数では、夏季の利用が多く、冬季の利用が少ない傾向が見られます。また、利用者の年代別では、80代の利用が最も多く、60歳以上の利用が全体の約90%を占めています。便別では、11時便が最も多く、9時～13時の利用が多くなっています。

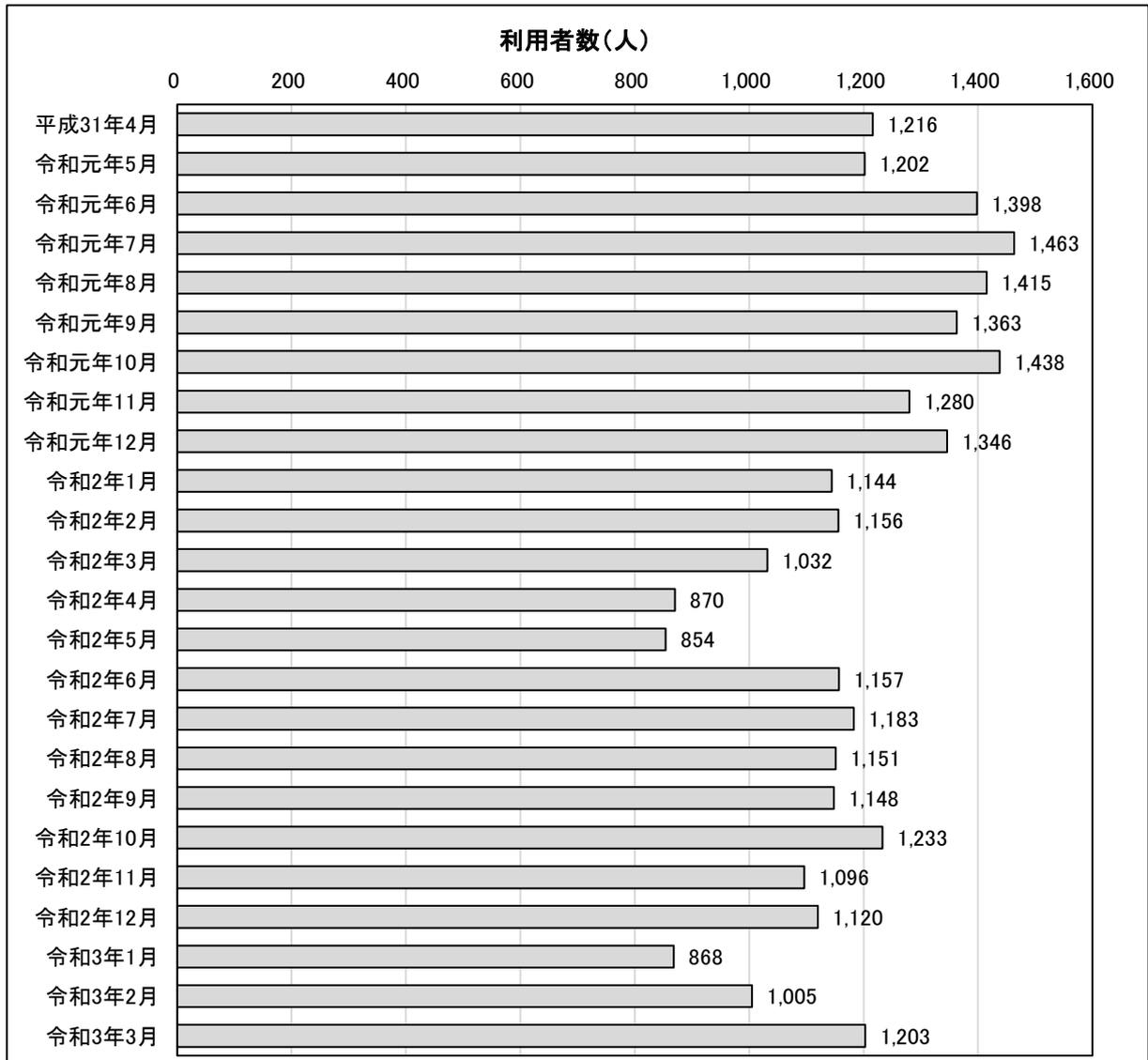
◆デマンドタクシー利用登録者数



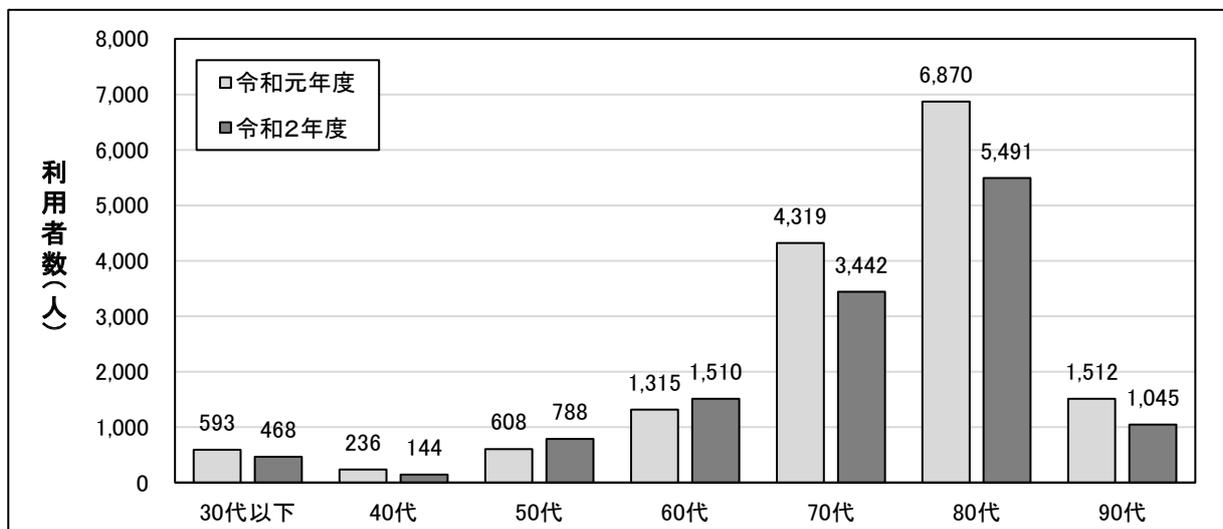
◆デマンドタクシー年間利用者数



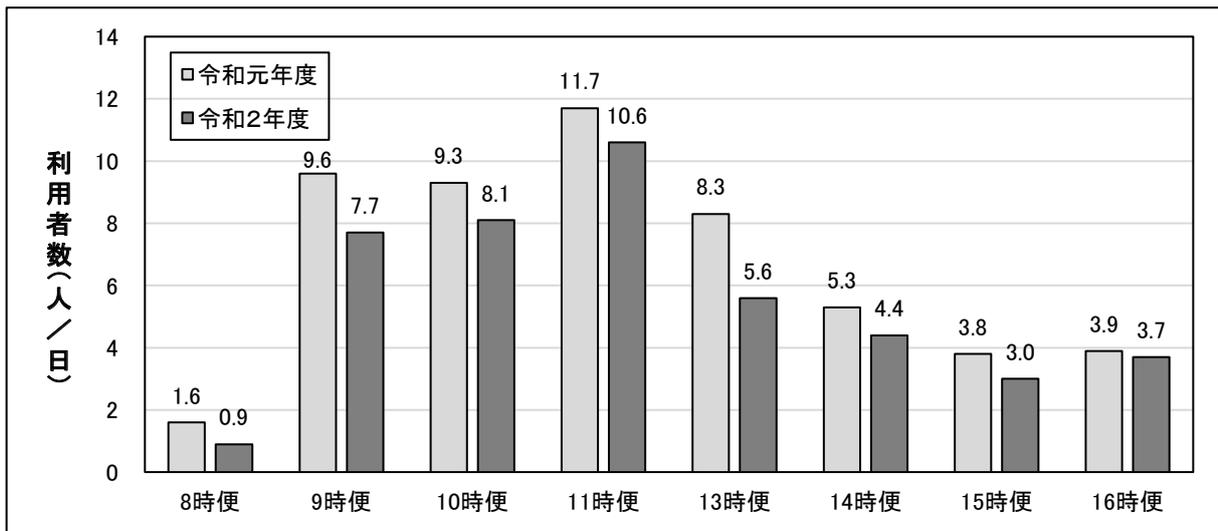
◆デマンドタクシー月別利用者数



◆デマンドタクシー年代別利用者数



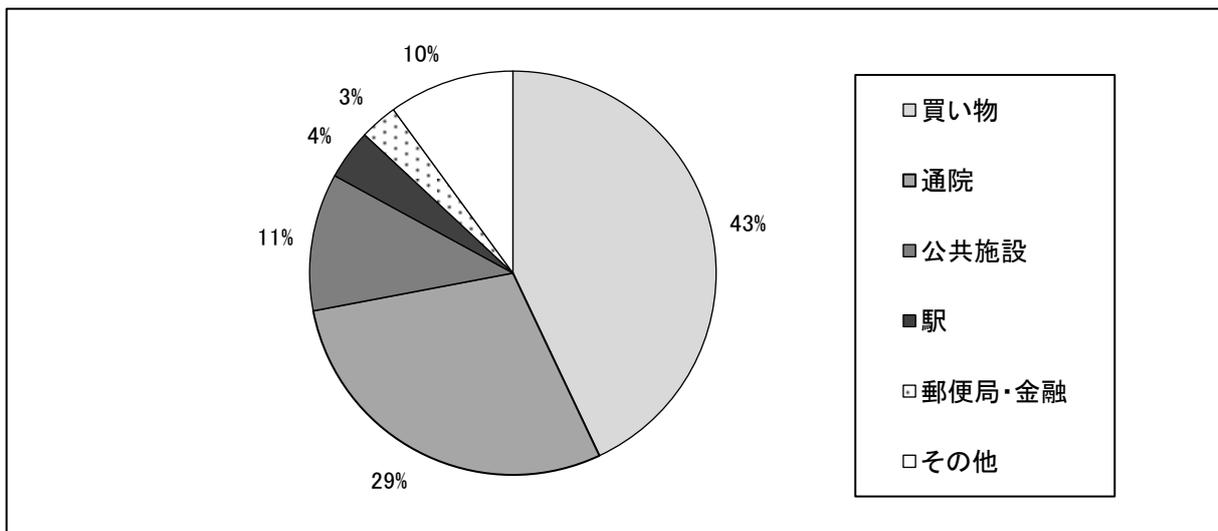
◆デマンドタクシー運行便（時間帯）別利用者数



(3) 利用目的と目的地

医療施設や商業施設など、高齢者が日常生活に必用な目的を達成するために利用しています。

◆利用目的地別割合及び利用場所ランキング（令和2年度）



No	場所	回数	No	場所	回数
1	かましん益子店	3,759	6	中央薬局ましこ店	399
2	ベシシア益子店	1,157	7	松谷クリニック	305
3	鈴木医院	840	8	小宅消防小屋2分団3部	291
4	パチンコ白十字	582	9	益子町役場	265
5	益子駅	442	10	菊池病院	245

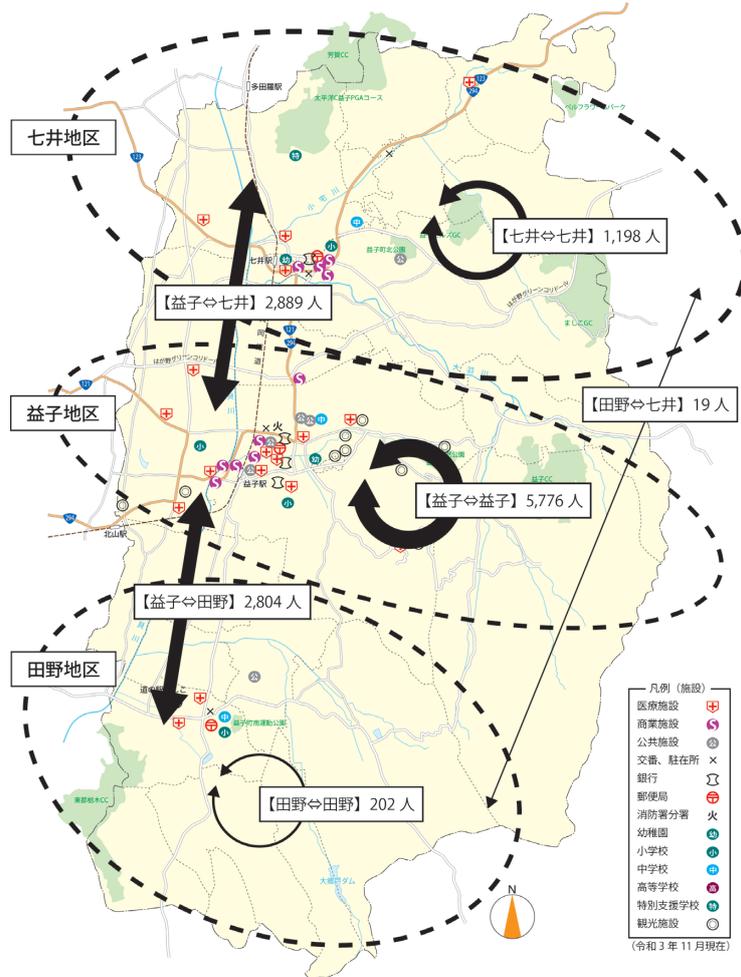
(4) 地区間利用者数

デマンドタクシーの地区間利用者数を図に示します。

益子地区内での利用が44.8%と最も多く、次いで益子地区と七井地区間の利用が22.4%、田野地区と益子地区の利用が21.8%となっています。

その一方で、益子駅での乗り継ぎが必要となる田野地区と七井地区間の利用は0.1%と非常に少なくなっています。また、田野地区内の利用も1.6%と少ない状況です。

◆デマンドタクシーの地区間利用者数



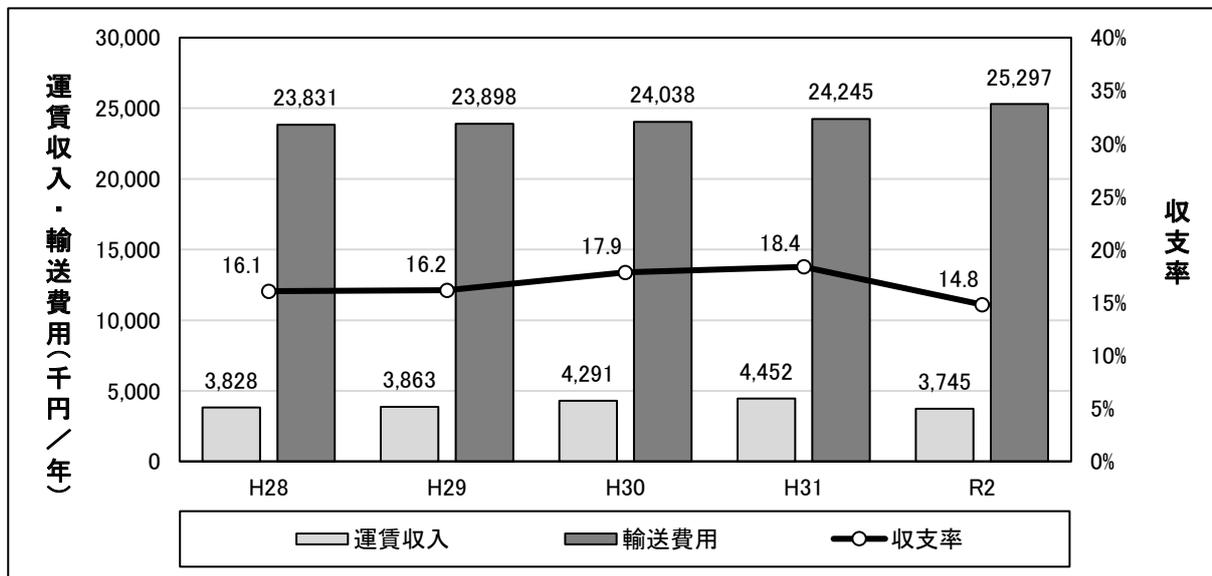
移動地区			利用者数	割合
田野	⇄	田野	202人	1.6%
益子	⇄	益子	5,776人	44.8%
七井	⇄	七井	1,198人	9.3%
田野	⇄	益子	2,804人	21.8%
益子	⇄	七井	2,889人	22.4%
田野	⇄	七井	19人	0.1%
合計			12,888人	100.0%

(令和2年度)

(5) 運賃収入、収支率

運賃収入が少ないことから、運行経費の確保が困難な状況にあります。

◆運賃収入・収支率



(千円/年)

	H28	H29	H30	H31	R2
町支出金	23,831	23,898	24,038	24,245	25,297
うち国補助金	(4,391)	(4,225)	(3,796)	(3,519)	(3,530)

9. 交通結節点での連携状況

鉄道などの基幹線から各交通機関(二次交通)への乗り継ぎ(交通結節点)については、自家用車や自転車に対しては駐車場、駐輪場などの施設が整備されています。しかし、路線バスとの乗り継ぎでは、乗降数が多い七井駅から歩道が無い狭い道路を250m歩かなければなりません。安全に通行できる様、歩道の整備が望まれる状況です。

◆交通結節点乗り継ぎ状況(鉄道)

鉄道	乗り継ぎ先	益子駅	七井駅
	→路線バス →高速バス (益子駅のみ)	乗り継ぎ場所：益子駅前	乗り継ぎ場所：改札から徒歩 約 250m  出典：国土地理院地図
	→自家用車	駐車場：普通 100 台、大型 6 台	駐車場：普通 10 台
	→デマンド タクシー	駅前で乗降可能	駅前で乗降可能
	→タクシー	駅前ロータリーに待機	駅前(七井タクシー事業所)
	→自転車	駐輪場有り	駐輪場有り
	→レンタサイ クル	駅から利用可能：15 台	なし

◆交通結節点乗り継ぎ状況(バス)

路線バス	乗り継ぎ先	各バス停留所
	→高速バス	①益子駅前 ②陶芸メッセ入口
	→自家用車	施設による連携無し
	→自転車	

第5節 地域公共交通に関する町民アンケート調査

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

デマンドタクシーの利用登録者にアンケート調査を実施し、利用者の属性や利用実態、要望等を把握しました。

(2) 調査対象者

調査区分	調査対象者	調査対象者数
益子町における公共交通に関する町民アンケート調査	●益子町デマンドタクシー利用登録者より無作為抽出	500人

(3) 実施方法

- 調査地域：益子町全域
- 調査形式：アンケート調査
- 調査方法：益子町における公共交通に関する町民アンケート調査（郵送調査）
- 調査期間：令和3年10月12日（火）～11月2日（火）

(4) 回収結果

調査区分	配布数	回収数	回収率
益子町における公共交通に関する町民アンケート調査	500件	361件	72.2%

(5) 調査結果を見る際の留意点

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っているため、回答比率の合計は100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。

2. アンケート調査票

◆アンケート調査票〈前面〉

益子町における公共交通に関する町民アンケート調査	
<p>【問1】 あなたの性別はどちらですか。(Qは1つ)</p> <p>1. 男性 2. 女性 3. 回答しない</p>	<p>【問5】 で『1. 所有している』と回答した方のみご回答ください。</p> <p>【問8】 自動車運転免許証を返納した場合、町からデマンドタクシーの無料券(20回分)が交付されることをご存じですか。(Qは1つ)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>
<p>【問2】 あなたはどの年代ですか。(Qは1つ)</p> <p>1. 50代 2. 60代 3. 70代 4. 80代以上</p>	<p>【問9】 あなたはどの程度の頻度で外出(通勤・通学、買い物や通院等)しますか。(Qは1つ)</p> <p>1. 1週間のほぼ毎日 2. 平日はほぼ毎日 3. 週に3~4日</p> <p>4. 週に1~2日 5. 月に数回 6. 年に数回</p> <p>7. その他()</p>
<p>【問3】 あなたの職業は何ですか。(Qは1つ) ※兼業の方は主な職業を選んでください。</p> <p>1. 会社員、公務員 2. 自営業 3. 専業主婦(夫)、家事手伝い</p> <p>4. 無職、年金受給者 5. パート、アルバイト 6. その他()</p>	<p>【問10】 あなたが普段よく利用する交通手段は何ですか。(Qは3つまで)</p> <p>1. 自動車(自分で運転) 2. 自動車(家族・知人が運転)</p> <p>3. バス 4. タクシー</p> <p>5. バイク 6. 自転車</p> <p>7. 鉄道 8. デマンドタクシー「ひまわり号」</p> <p>9. 徒歩 10. その他()</p>
<p>【問4】 あなたがお住まいの地区はどこですか。(Qは1つ。自治会名もご記入ください。)</p> <p>1. 田野地区 2. 益子地区 3. 七井地区</p> <p style="text-align: center;">↓ ↓ ↓</p> <p>自治会名 自治会名 自治会名</p>	<p>【問11】 普段の外出先として最も多い地域はどこですか。(Qは1つ)</p> <p>1. 居住している地域(田野、益子、七井) 2. 町内のその他の地域</p> <p>3. 真岡市 4. 芳賀郡内(茂木町、中井町、芳賀町)</p> <p>5. 宇都宮市 6. その他県内</p> <p>7. 県外</p>
<p>【問5】 あなたは自動車運転免許証をお持ちですか。(Qは1つ)</p> <p>1. 所有している 2. 所有していない → 【問9】△</p>	<p>【問12】 あなたは、外出をする際、デマンドタクシーをどのくらい利用していますか。(Qは1つ)</p> <p>1. 月に1~2回 2. 週に1~2回 3. それ以上 4. 利用しない</p>
<p>【問6】 で『1. 所有している』と回答した方のみご回答ください。</p> <p>【問6】 自動車運転免許証の返納を考慮していますか。あなたは自分が自由に利用できる自家用車をお持ちですか。(Qは1つ)</p> <p>1. 所有している 2. 所有していない</p>	<p>【問12】 で『4. 利用しない』と回答した方のみご回答ください。</p> <p>【問13】 デマンドタクシーを利用しない理由は何ですか。(Qはいくつでも)</p> <p>1. 自分で車を運転している 2. 家族や知りが乗せてくれる</p> <p>3. 利用時間が合わない 4. 行き先が目的に合わない</p> <p>5. 利用方法がわからない 6. その他()</p>
<p>【問6】 で『1. 所有している』と回答した方のみご回答ください。</p> <p>【問7】 将来、自動車運転免許証の返納を考慮していますか。(Qは1つ)</p> <p>1. 近いうちに返納する予定がある 2. 返納を考慮しているが、時期は未定である</p> <p>3. 今後返納を考えたい 4. 現在は返納を考えていない</p> <p>5. わからない</p>	<p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 5px;">裏面へ続く→</p>
3	2

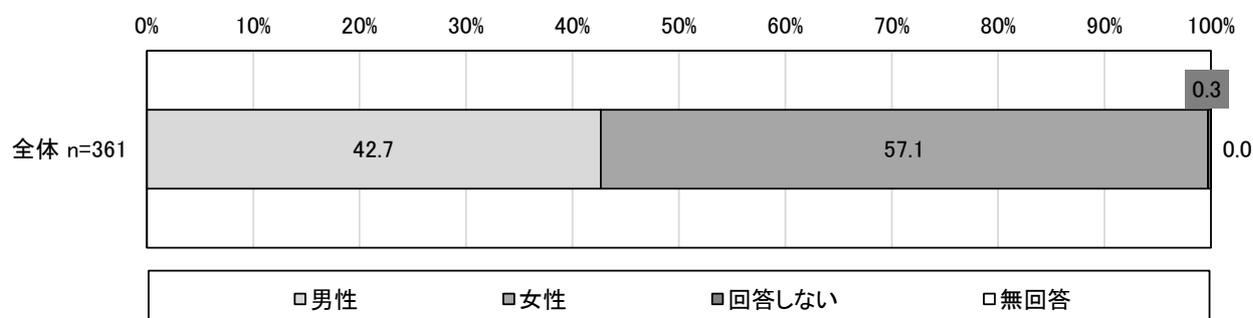
◆アンケート調査票〈裏面〉

<p>【問14】 これまでに、デマンドタクシーの予約が、満員等でとれなかったことはありますか。(Qは1つ)</p> <p>1. ある 2. ない → 【問16】△</p>	<p>【問20】 で『1.』『2.』と回答した方のみご回答ください。</p> <p>【問21】 不便に感じる理由は何ですか。(Qはいくつでも)</p> <p>1. 自宅から駅まで歩行距離が長い 2. 運行本数が少ない</p> <p>3. 行き先が目的に合わない 4. 料金が高い</p> <p>5. 家族等に送迎してもらった必要がある 6. 車の方が公共交通に比べて便利</p> <p>7. その他()</p>
<p>【問14】 で『1. ある』と回答した方のみご回答ください。</p> <p>【問15】 予約がとれなかったとき、どのように対応しましたか。(Qは1つ)</p> <p>1. ほかの交通手段を利用した 2. 利用時間を変更した</p> <p>3. 外出するのをやめた 4. その他()</p>	<p>【問22】 町内の関東自動車バス(旧東野バス)のサービス水準(運行本数、ルート、車両等)に満足していますか。(Qは1つ)</p> <p>1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない</p> <p>4. やや不満 5. 不満</p> <p><理由があればご記入ください></p>
<p>【問16】 あなたは、デマンドタクシーと合わせて真岡線道を利用したことがありますか。(Qは1つ)</p> <p>1. ある 2. ない</p>	<p>【問23】 真岡線道のサービス水準(運行本数、ルート、車両等)に満足していますか。(Qは1つ)</p> <p>1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない</p> <p>4. やや不満 5. 不満</p> <p><理由があればご記入ください></p>
<p>【問17】 デマンドタクシーが、真岡線道北山駅まで行けることをご存じですか。(Qは1つ)</p> <p>1. はい 2. いいえ</p>	<p>【問24】 最後に、公共交通に関してご意見がありましたら、ご自由にお書きください。</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
<p>【問18】 デマンドタクシーと真岡線道の連携についてどうお考えですか。(Qは1つ)</p> <p>1. 積極的に利用したい 2. 時間帯があれば利用したい</p> <p>3. 乗継が面倒なのであまり利用したくない 4. どちらともいえない</p>	<p>***ご協力ありがとうございました。***</p> <p>同封の返信用封筒に入れてポストへ投函をお願いいたします。</p>
<p>【問19】 デマンドタクシー「ひまわり号」のサービス水準(運行本数、料金、車両等)に満足していますか。(Qは1つ)</p> <p>1. 満足 2. やや満足 3. どちらともいえない</p> <p>4. やや不満 5. 不満</p> <p><理由があればご記入ください></p>	3
<p>【問20】 公共交通(鉄道・バス・タクシー等)での日常の移動に不便を感じていますか。(Qは1つ)</p> <p>1. 感じている 2. やや感じている</p> <p>3. あまり感じない → 【問22】△ 4. 感じていない → 【問22】△</p>	4

3. アンケート調査結果

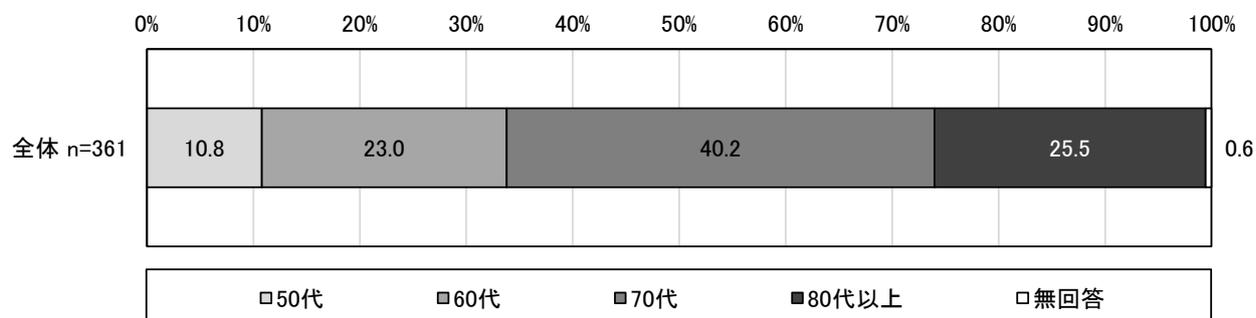
問1 あなたの性別はどちらですか。(〇は1つ)

回答者の性別については、「男性」が42.7%、「女性」が57.1%となっています。



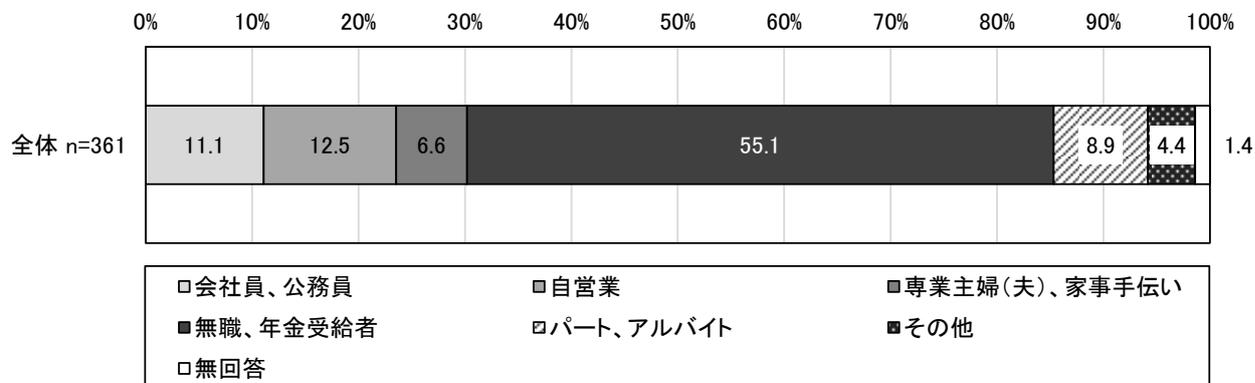
問2 あなたはどの年代ですか。(〇は1つ)

回答者の年代については、「50代」が10.8%、「60代」が23.0%、「70代」が40.2%、「80代以上」が25.5%となっています。



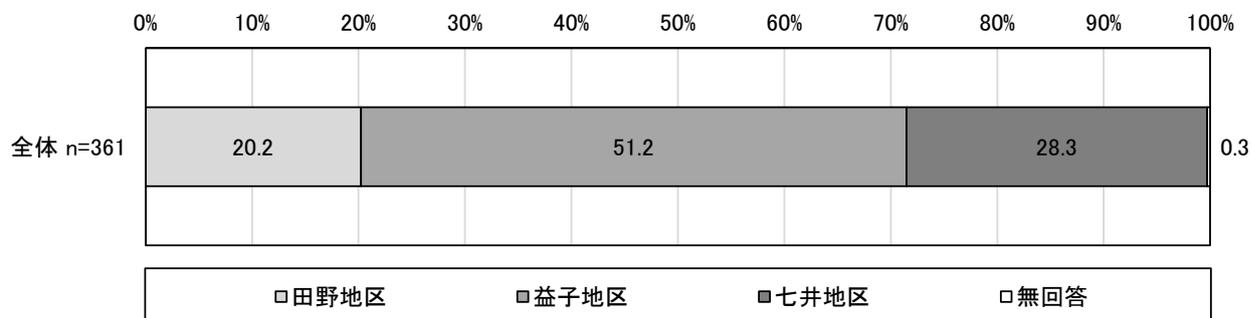
問3 あなたの職業は何ですか。(〇は1つ) ※兼業の方は主な職業を選んでください。

回答者の職業については、「無職、年金受給者」が55.1%で最も高く、次いで「自営業」が12.5%、「会社員、公務員」が11.1%となっています。



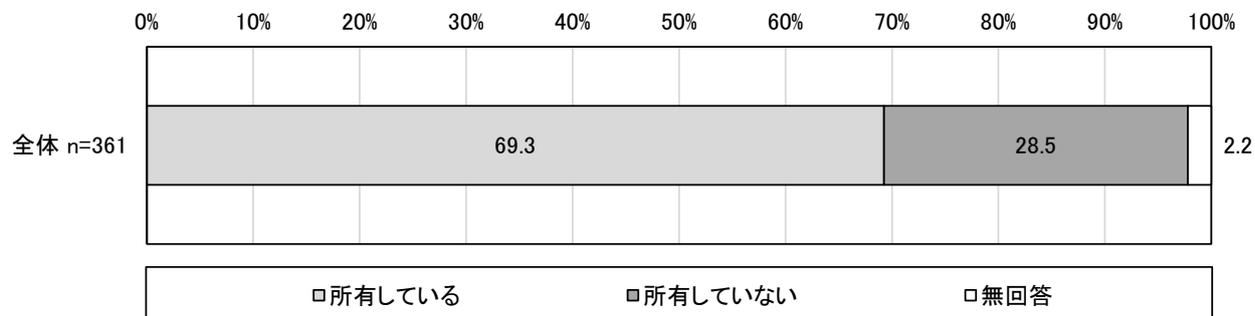
問4 あなたがお住まいの地区はどこですか。(〇は1つ)

お住まいの地区については、「益子地区」が51.2%で最も高く、次いで「七井地区」が28.3%、「田野地区」が20.2%となっています。



問5 あなたは自動車運転免許証をお持ちですか。(〇は1つ)

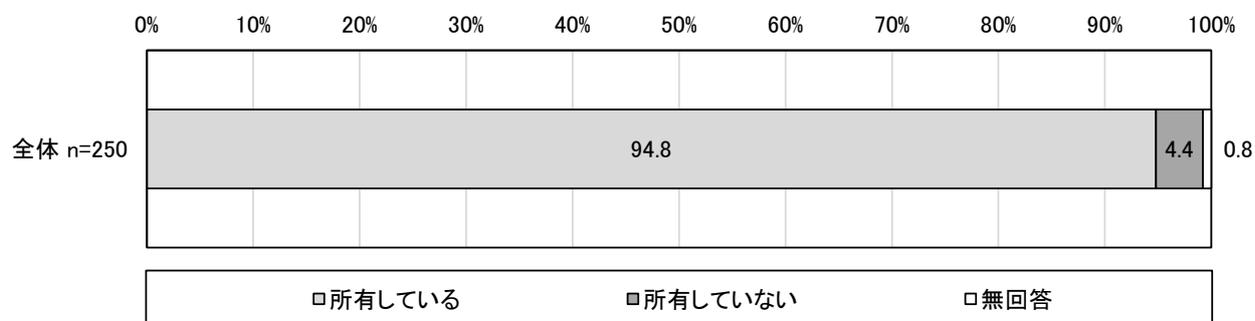
自動車運転免許証の所有状況については、「所有している」が69.3%、「所有していない」が28.5%となっています。



問5で『所有している』と回答した方のみご回答ください。

問6 自動車運転免許証をお持ちの方にお聞きします。あなたは自分が自由に利用できる自家用車をお持ちですか。(〇は1つ)

自家用車の所有状況については、「所有している」が94.8%、「所有していない」が4.4%となっています。

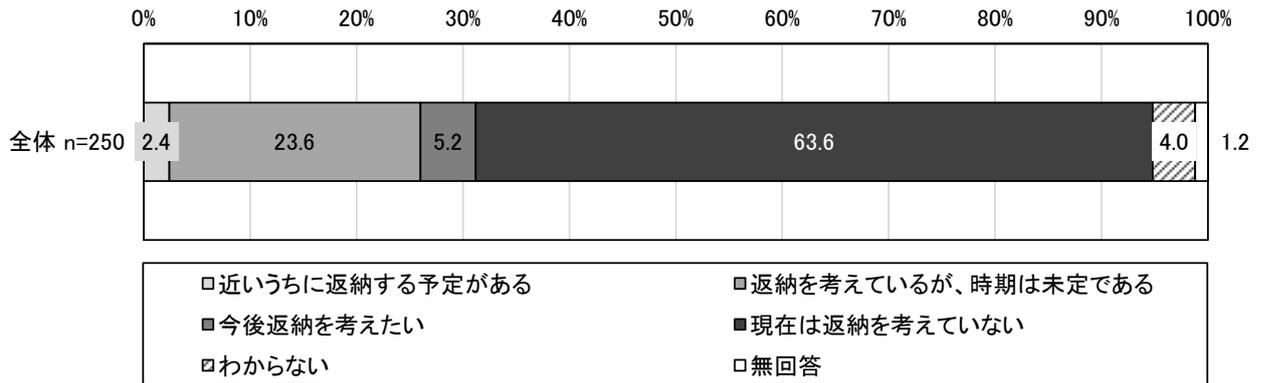


問5で『所有している』と回答した方のみご回答ください。

問7 将来、自動車運転免許証の返納を考えていますか。(〇は1つ)

自動車運転免許証の返納については、「現在は返納を考えていない」が63.6%で最も高く、次いで「返納を考えているが、時期は未定である」が23.6%、「今後返納を考えたい」が5.2%となっています。

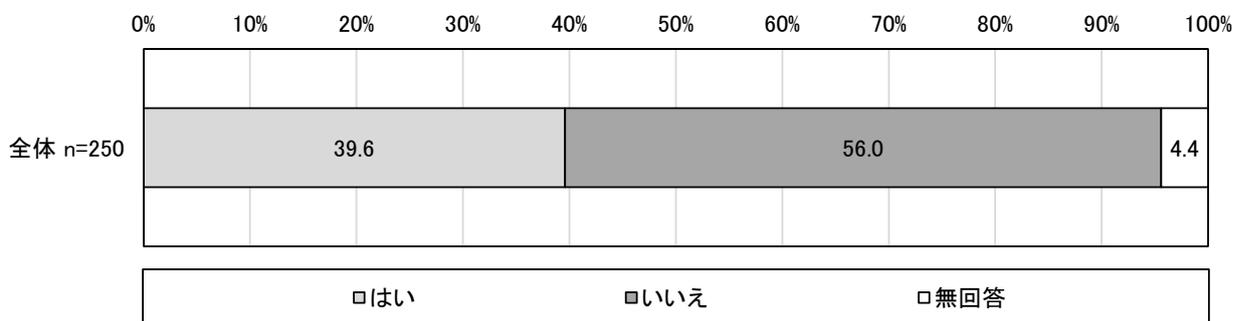
『返納に関心あり』（「近いうちに返納する予定がある」「返納を考えているが、時期は未定である」「今後返納を考えたい」）は、31.2%となっています。



問5で『所有している』と回答した方のみご回答ください。

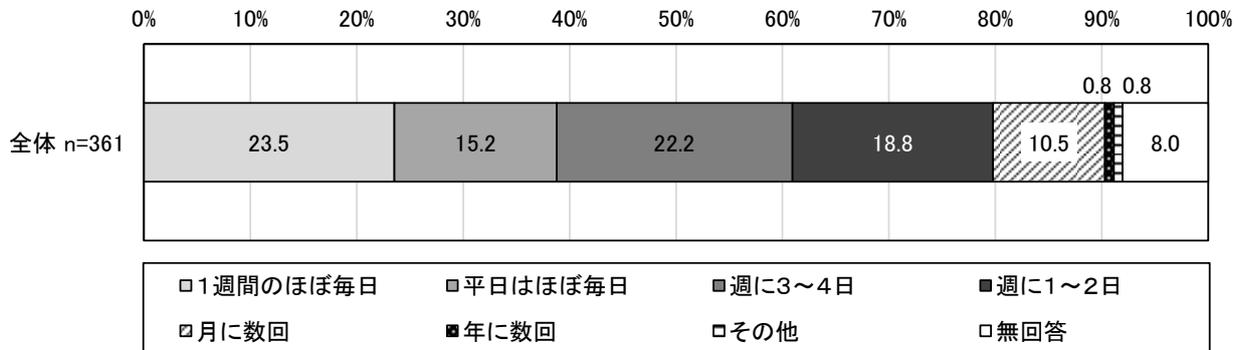
問8 自動車運転免許証を返納した場合、町からデマンドタクシーの無料券(20回分)が交付されることをご存じですか。(〇は1つ)

自動車運転免許証を返納した場合、町からデマンドタクシーの無料券(20回分)が交付されることを知っているかについては、「はい」が39.6%、「いいえ」が56.0%となっています。



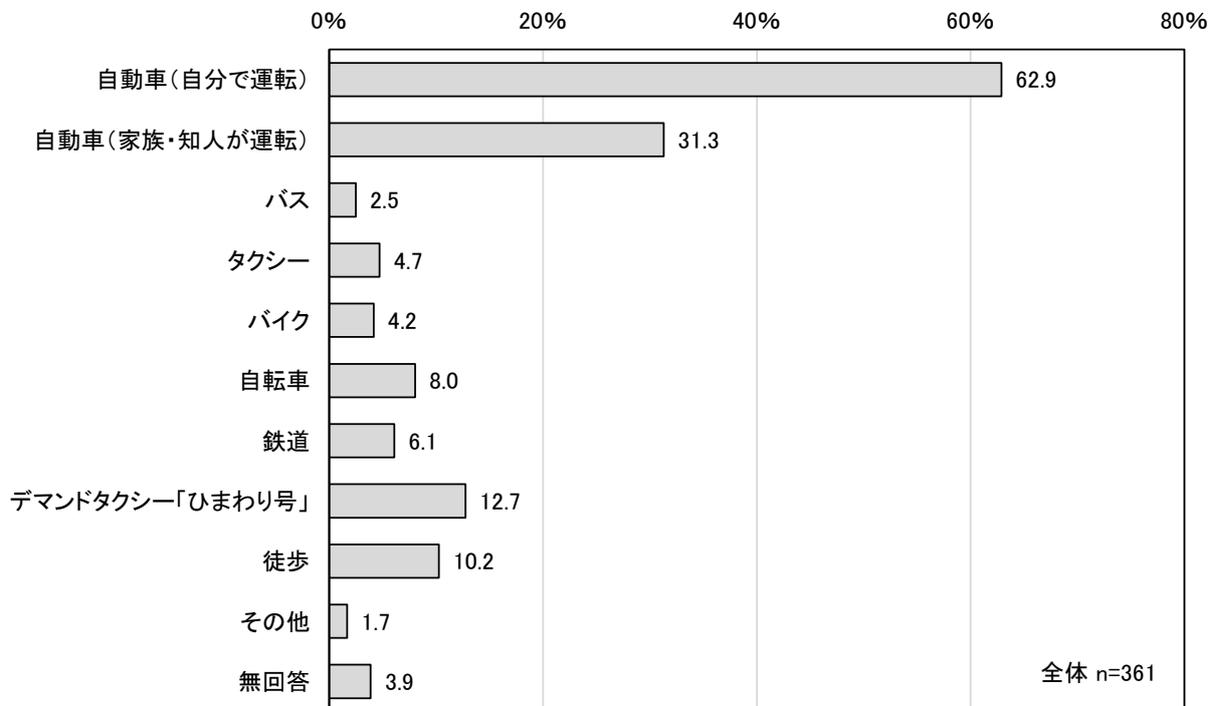
問9 あなたはどの程度の頻度で外出（通勤・通学、買い物や通院等）しますか。（〇は1つ）

外出（通勤・通学、買い物や通院等）の頻度については、「1週間のほぼ毎日」が23.5%で最も高く、次いで「週に3～4日」が22.2%、「週に1～2日」が18.8%となっています。



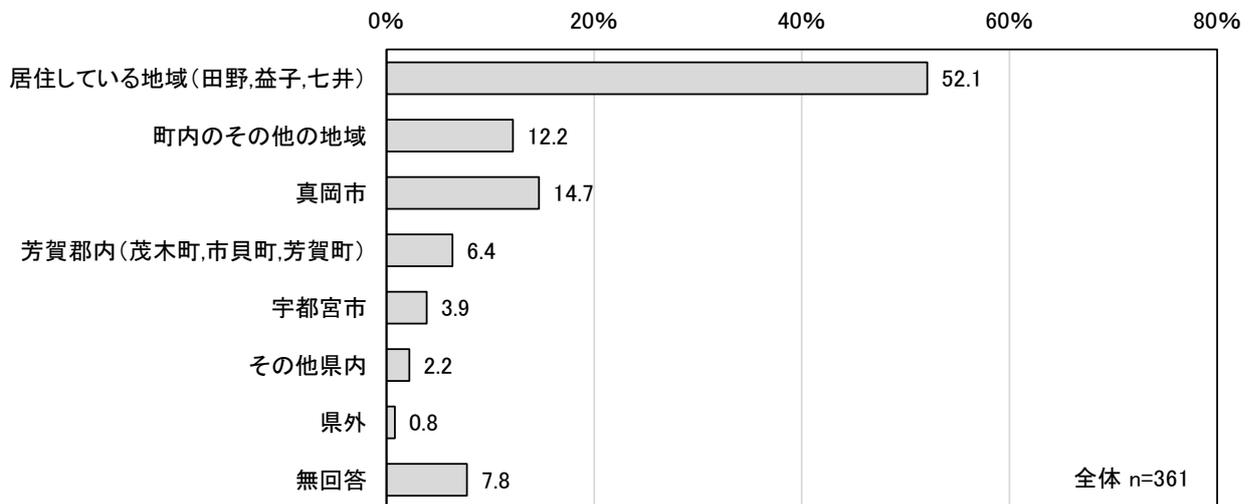
問10 あなたが普段良く利用する交通手段は何ですか。（〇は3つまで）

良く利用する交通手段については、「自動車（自分で運転）」が62.9%で最も高く、次いで「自動車（家族・知人が運転）」が31.3%、「デマンドタクシー「ひまわり号」」が12.7%となっています。



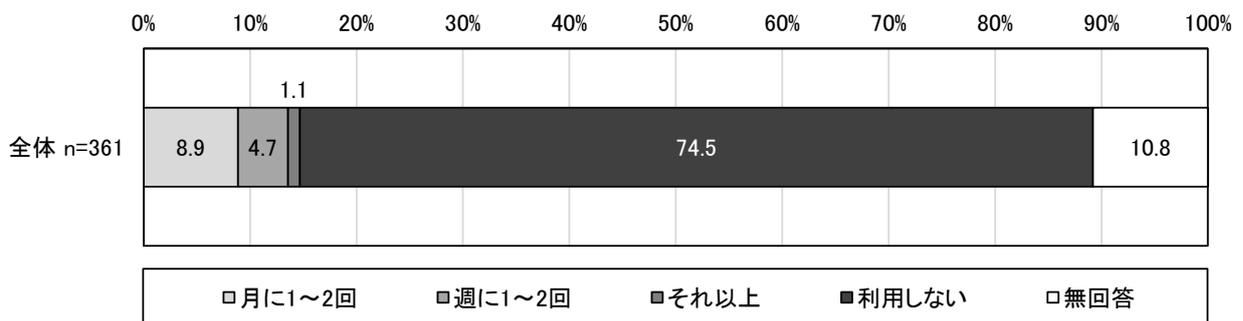
問 11 普段の外出先として最も多い地域はどこですか。(〇は1つ)

外出先として最も多い地域については、「居住している地域(田野,益子,七井)」が 52.1%で最も高く、次いで「真岡市」が 14.7%、「町内のその他の地域」が 12.2%となっています。



問 12 あなたは、外出をする際、デマンドタクシーをどのくらい利用していますか。(〇は1つ)

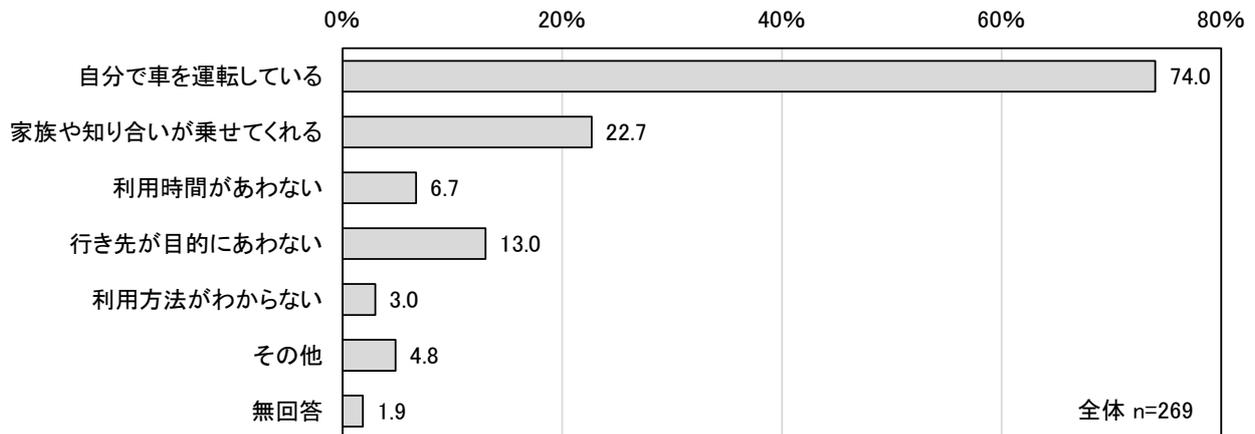
外出をする際、デマンドタクシーをどのくらい利用するかについては、「利用しない」が 74.5%で最も高く、次いで「月に1~2回」が 8.9%、「週に1~2回」が 4.7%となっています。



問 12で『利用しない』と回答した方のみご回答ください。

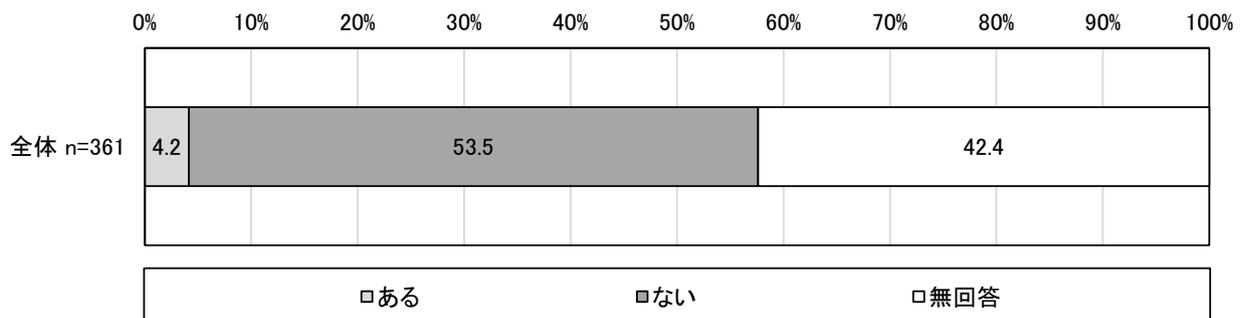
問 13 デマンドタクシーを利用しない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

デマンドタクシーを利用しない理由については、「自分で車を運転している」が74.0%で最も高く、次いで「家族や知り合いが乗せてくれる」が22.7%、「行き先が目的にあわない」が13.0%となっています。



問 14 これまでに、デマンドタクシーの予約が、満員等でとれなかったことはありますか。(〇は1つ)

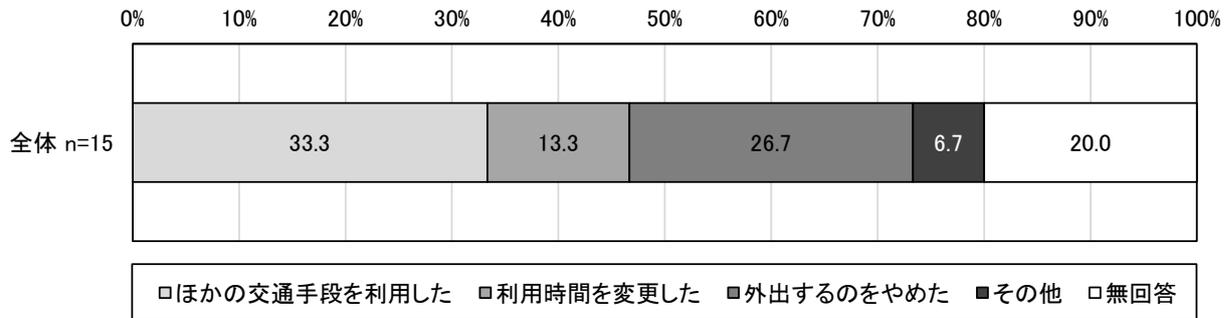
デマンドタクシーの予約がとれなかったことがあるかについては、「ある」が4.2%、「ない」が53.5%となっています。



問 14 で『ある』と回答した方のみご回答ください。

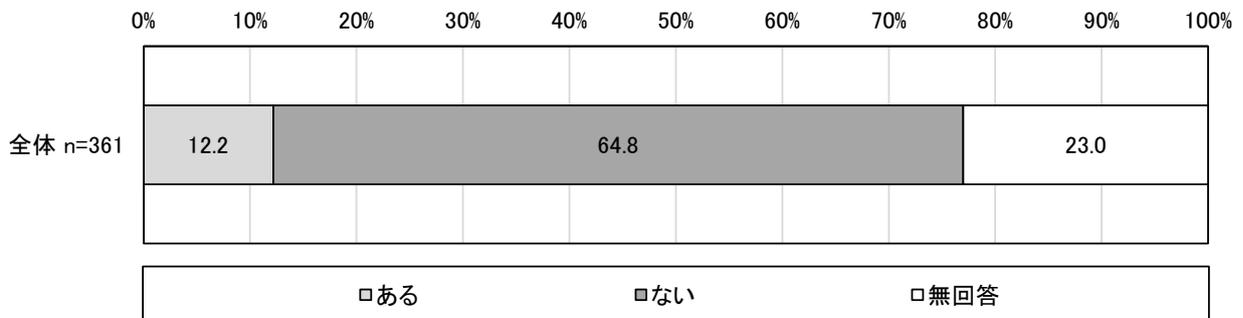
問 15 予約がとれなかったとき、どのように対応しましたか。(〇は1つ)

予約がとれなかったときの対応については、「ほかの交通手段を利用した」が 33.3%で最も高く、次いで「外出するのをやめた」が 26.7%、「利用時間を変更した」が 13.3%となっています。



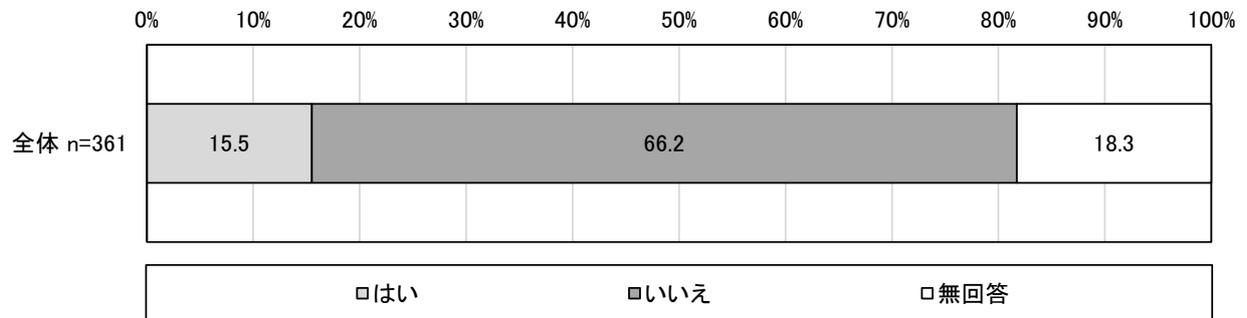
問 16 あなたは、デマンドタクシーと合わせて真岡鐵道を利用したことがありますか。(〇は1つ)

デマンドタクシーと合わせて真岡鐵道を利用したことがあるかについては、「ある」が 12.2%、「ない」が 64.8%となっています。



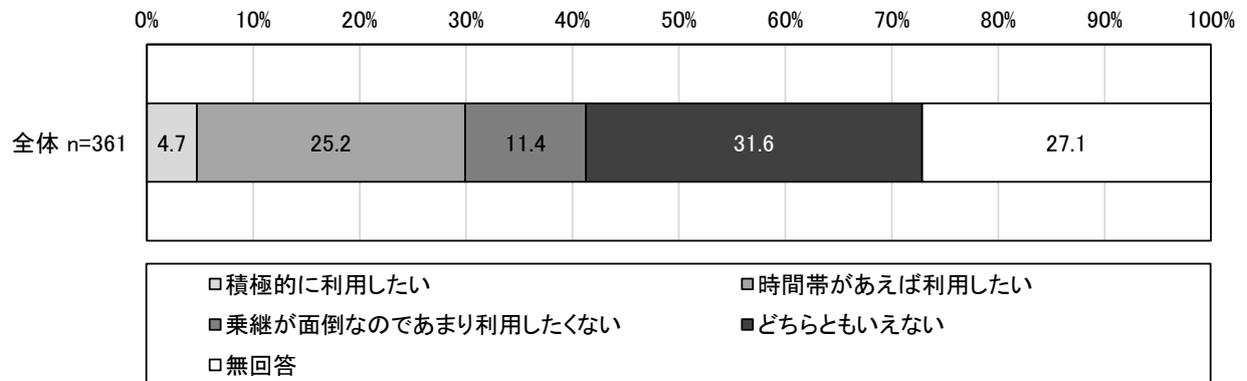
問 17 デマンドタクシーが、真岡鐵道北山駅まで行けることをご存じですか。(〇は1つ)

デマンドタクシーが、真岡鐵道北山駅まで行けることについては、「はい」が15.5%、「いいえ」が66.2%となっています。



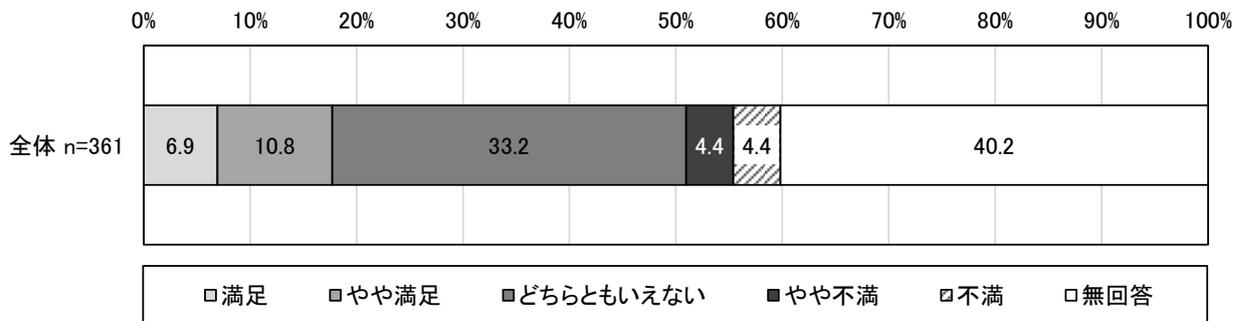
問 18 デマンドタクシーと真岡鐵道の連携についてどうお考えですか。(〇は1つ)

デマンドタクシーと真岡鐵道の連携については、「どちらともいえない」が31.6%で最も高く、次いで「時間帯があれば利用したい」が25.2%、「乗継が面倒なのであまり利用したくない」が11.4%となっています。



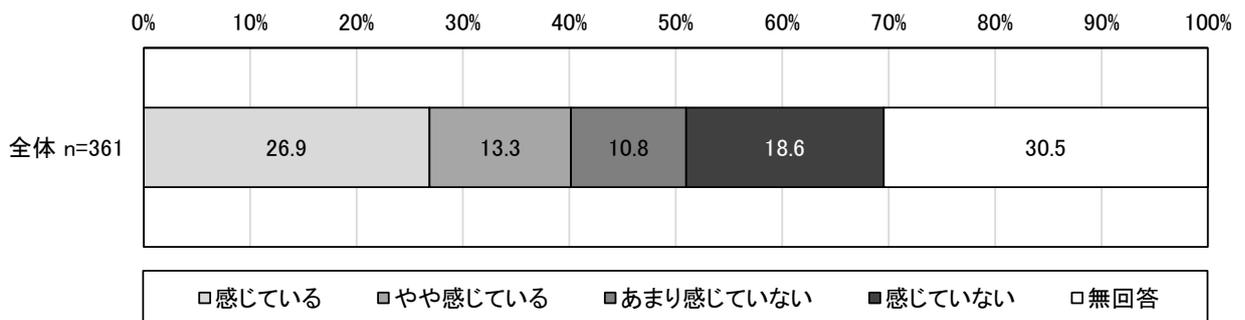
問 19 デマンドタクシー「ひまわり号」のサービス水準（運行本数、料金、車両等）に満足していますか。（〇は1つ）

デマンドタクシー「ひまわり号」のサービス水準（運行本数、料金、車両等）に満足しているかについては、「どちらともいえない」が33.2%で最も高く、次いで「やや満足」が10.8%、「満足」が6.9%となっています。



問 20 公共交通（鉄道・バス・タクシー等）での日常の移動に不便を感じていますか。（〇は1つ）

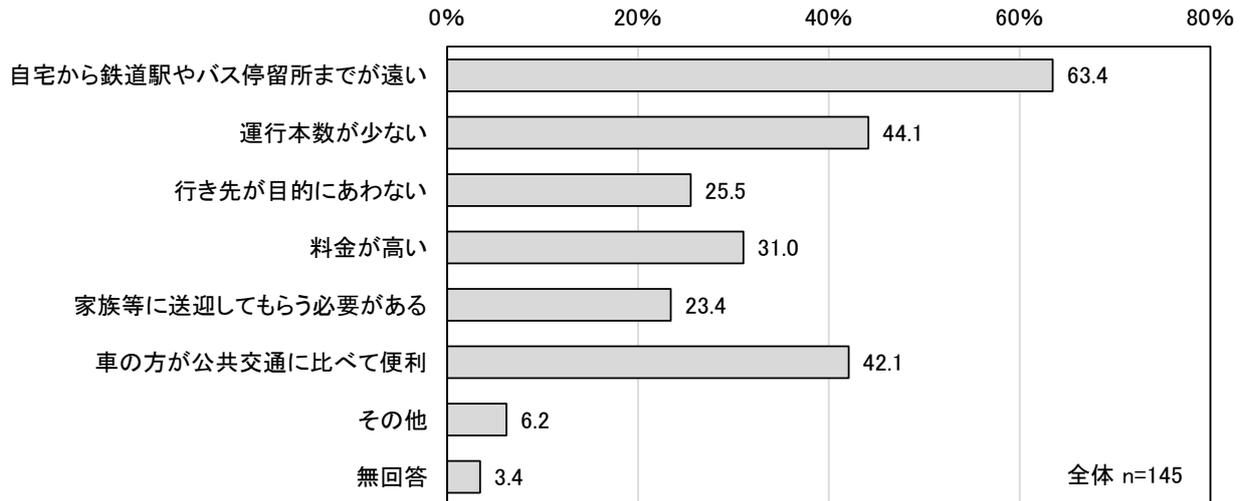
公共交通（鉄道・バス・タクシー等）での日常の移動に不便を感じているかについては、「感じている」が26.9%で最も高く、次いで「感じていない」が18.6%、「やや感じている」が13.3%となっています。



問 20 で『感じている』『やや感じている』と回答した方のみご回答ください。

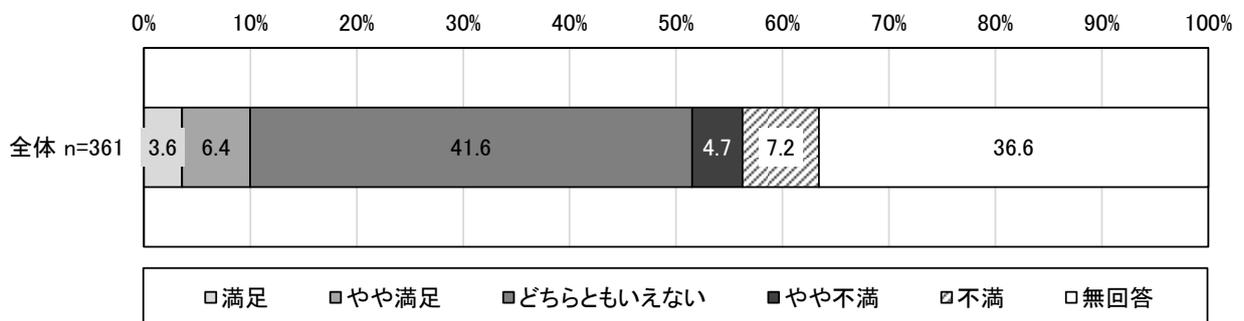
問 21 不便を感じる理由はなぜですか。(〇はいくつでも)

公共交通での移動を不便を感じる理由については、「自宅から鉄道駅やバス停留所までが遠い」が63.4%で最も高く、次いで「運行本数が少ない」が44.1%、「車の方が公共交通に比べて便利」が42.1%となっています。



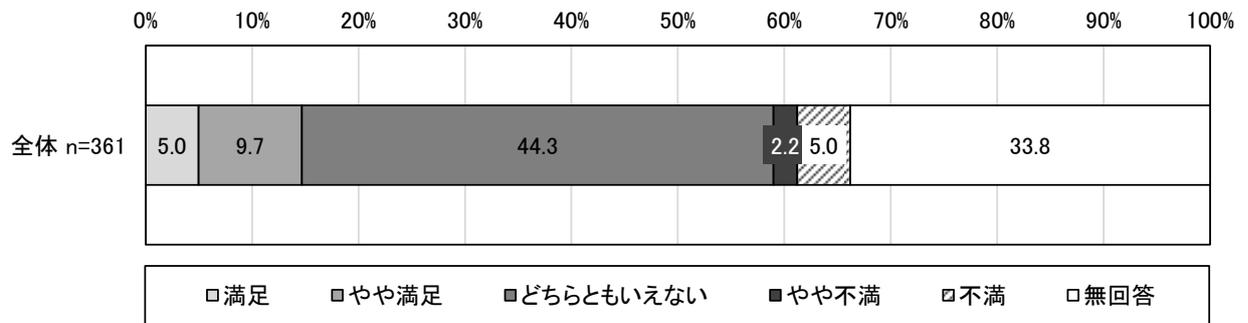
問 22 町内の関東自動車バス（旧東野バス）のサービス水準（運行本数、ルート、車両等）に満足していますか。(〇は1つ)

町内の関東自動車バス（旧東野バス）のサービス水準（運行本数、ルート、車両等）に満足しているかについては、「どちらともいえない」が41.6%で最も高く、次いで「不満」が7.2%、「やや満足」が6.4%となっています。



問 23 真岡鐵道のサービス水準（運行本数、ルート、車両等）に満足していますか。
 （〇は 1 つ）

真岡鐵道のサービス水準（運行本数、ルート、車両等）に満足しているかについては、「どちらともいえない」が 44.3%で最も高く、次いで「やや満足」が 9.7%、「満足」「不満」がともに 5.0%となっています。



第6節 地域状況やアンケート結果を踏まえた公共交通の問題点

地域状況やアンケート結果を踏まえた公共交通の問題点を整理すると以下の通りとなります。

項目	問題点
人口（推移・分布・年齢構成）	今後も継続的な総人口の減少が見込まれることから、公共交通全体の利用者が減少していくことが予想されます。
	年少人口（0～14歳）及び生産人口（15～64歳）の減少が見込まれることから、通勤・通学による公共交通の利用が減少していくことが予想されます。
	2030年までは高齢者人口（65歳以上）の増加が見込まれます。アンケート結果より高齢者の自動車運転免許返納を考えている方は3割を超えており、今後は自動車等の日常生活の移動手段を持たない高齢者が増えることや、日常生活の移動手段として使用できる公共交通の需要が高まることが予想されます。
	市街地に近い町の西部では高齢化率が低く、市街地から離れた東部では高齢化率が高い状況です。
主要施設の立地状況	商業施設の空白地域である田野地区は、他地区に買い物に行く必要があります。
	田野地区の「道の駅ましろ」への公共交通を利用したアクセスが不便です。七井地域からはデマンドタクシーを益子駅で乗り継ぐ必要があるほか、公共交通を利用してきた観光客は益子駅から「タクシー」や「レンタサイクル」に乗り継ぐ必要があります。
公共交通の状況 (デマンドタクシーを除く)	通勤・通学・観光など多様な用途で利用されている基幹軸（真岡鐵道と関東自動車）の利用客が年々減少し、運賃収入も減少しています。
	「関東やきものライナー」は、秋葉原駅と益子駅を繋ぐ広域交通として運行しており、首都圏と本町を繋ぐ移動手段として業務や観光等で利用されています。利用者は年々増加しており、今後より一層の広域交通としての役割が期待されます。
	益子陶器市開催日には臨時バスが運行しており、観光客の利便性を確保しているが、観光シーズン以外にも観光客の周遊性を高める取り組みが必要です。

項目	問題点
デマンドタクシー利用状況と 利用者の評価	デマンドタクシー利用者数は年々増加しており、自家用車を持たない 80 歳以上の高齢者の利用が増加し、外出時はほぼデマンドタクシーに頼る人もいるなど、地域の移動手段としての重要性が増しています。
	商業施設や医療施設が数多く立地する益子地域への利用者数が多くなっていることから、日常生活において不可欠な地域の移動手段として運行の維持が必要です。
	運賃収入が少なく、運行経費の確保が困難な状況にあります。
	運行時間帯の改善要望として、12 時台の運行希望が多く、また夜間の利用を希望する声もあります。
	運行エリアの改善要望として、芳賀赤十字病院へ行けるようにしてほしいとの希望が多く、七井地区と田野地区間の乗り換えなしの移動を希望する声もあります。
	料金について、高いと感じている声が多く、複数の目的地に行きたい場合に高くなってしまいうので 1 日券のような定額乗り放題を希望する声もあります。
	デマンドタクシーの満足度は、「満足」「やや満足」との回答が「不満」「やや不満」よりも多くなっていますが、「どちらともいえない」との回答が最も多く、改善の余地があります。
その他	真岡鐵道が通っていない田野地区では、芳賀赤十字病院へ行く公共交通手段がなく、直通バス等を要望する声があります。
	新型コロナウイルス感染症の影響で移動需要が激減したことにより、令和 2 年度・令和 3 年度は公共交通全体に大きな影響が出ています。

第7節 益子町地域公共交通網形成計画の目標達成状況

益子町地域公共交通網形成計画の目標達成状況は以下のとおりとなります。（令和3年3月まで）

目標（評価指標）	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取り組み
デマンドタクシー利用者数 41人/日→50人/日	現在運行しているデマンドタクシー「ひまわり号」についてより利用しやすい運行体制に見直しながら運行を継続する	デマンドタクシー利用実績	デマンドタクシー利用者数（令和2年度）44人/日 コロナ禍により全体的に利用者が減となっている。	未達成 目標達成に向け取組を継続する。
七井～田野地区間デマンドタクシー利用者数 0人/日→5人/日 ※平成27年度の利用者数は年間9人利用	要望の高い町外施設へのデマンドタクシーの乗入れ可能性について、周辺市町と検討を進める 田野～七井地区間において要望が高い施設に直接乗入れ可能を検討する	デマンドタクシー利用実績	七井～田野地区間デマンドタクシー利用者数（令和2年度）0人/日 ※令和2年度の利用者数は年間で19人利用	未達成 七井～田野区間の利用者数が目標と乖離しているため、指標をあらためる。
道の駅ましろへの公共交通での来訪者数 0人/日→5人/日	宇都宮方面や真岡鐵道利用者が道の駅を利用しやすくなるアクセス向上策を検討する	デマンドタクシー利用実績	（令和2年度）44人/年間 道の駅利用者は自家用車が殆どである。また、公共交通はデマンドのみで休日に運行していない。	未達成 利用者数が目標と乖離しているため、指標をあらためる。
上屋、ベンチが整備された乗り継ぎ拠点数	益子町民及び観光客等の来訪者が出発地から目的地までスムーズに移動できるよう、公共交通乗り継ぎ時の利便性を向上させる施策を検討する	実績確認	0箇所 七井の乗り継ぎ場所は狭く設置出来ない。	未達成 実施可能な内容に指標をあらためる。
年間観光客入込み数 196万人/年→210万人/年	巡回バスの機能向上やタクシーとの連携、情報提供の充実等、観光客への公共交通の充実を図る	観光課データ	（令和2年度）179万人/年 コロナ禍により観光イベントもなく、また外来の公共交通も減便となったために利用者が減となっている。	未達成 目標達成に向け取組を継続する。
公共交通利用者の維持、増加 真岡鐵道：現状維持 関東自動車：現状維持 デマンドタクシー（再掲） 41人/日→50人/日	公共交通の運賃に対する「料金抵抗」を緩和するため、各種割引サービスの導入について検討する 運行事業者のみならず、行政や利用者との連携により相乗効果を生み出す取組を実施する	真岡鐵道 営業実績 関東自動車 OD調査結果 デマンドタクシー 利用実績	利用者数 （平成27年度）1,025,151人 （令和2年度）689,757人 コロナ禍により全体的に利用者が減となっている。 町内乗降者数 （平成30年6月）184人 （令和2年7月）104人 ※調査日1日の乗降者数 コロナ禍により全体的に利用者が減となっている。 デマンドタクシー利用者数 （令和2年度）44人/日 コロナ禍により全体的に利用者が減となっている。	未達成 取組の評価としてより具体的な指標にあらためる。 未達成 取組の評価としてより具体的な指標にあらためる。 未達成 目標達成に向け取組を継続する。

目標（評価指標）	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取り組み
公共交通利用者満足度向上	運行に係るサービス目標を定め、常にサービス維持、改善を図る	地域公共交通計画アンケート	アンケート結果でやや不満・不満に比してやや満足・満足が2倍あった。	達成 現状の満足度を維持するため、取組を継続する。
	定期的に公共交通内や乗降時にアンケート調査を実施し、サービス目標の見直しを図る	地域公共交通計画アンケート	定期的なアンケートが出来ていない。申請や相談、苦情処理、要望の受理に留まっている。	未達成 目標達成に向け取組を継続する。

第4章 計画の基本的な考え方

第1節 目指す将来像

上位・関連計画等の「まちづくりの方向性」と「地域状況を踏まえた公共交通の問題点」を踏まえ、目指すべき将来像を以下のように設定します。

1. だれもが安心して利用できる持続可能な公共交通ネットワークの形成

本町では、少子高齢化の進展や高齢者の運転免許返納の増加が予想され、交通弱者のさらなる増加が懸念されるほか、日常生活に必要な「通院」や「買い物」には自分の住んでいる地区以外に移動しなければならない交通弱者がたくさんいます。

そのような中、デマンドタクシー「ひまわり号」の利用者は年々増加しており、特に自家用車を持たない高齢者の利用が増加し、ほぼ毎日利用している方もいるなど、地域の移動手段として不可欠な存在になっていますが、運賃収入が足りず財政的支援が必要な状況にあります。

また、「真岡鐵道」や「関東自動車」は本町の通勤や通学、観光を支える基本軸として利用されてきましたが、近年は利用客の減少に伴い運賃収入が減少しています。

その一方で、「スクールバス」が町のほぼ全域にわたって運行しており、小学校の統廃合により広域化した学区の中でも児童の通学手段は確保されている状況です。

また、町内のタクシーについても様々な用途に対応できる交通手段として利用されています。

このような状況の中、これまで地域の日常生活を支えてきた公共交通を維持していくため、行政・事業者及び関係者で連携を図り、公共交通ネットワークを強化していくことが必要になります。

2. 観光などにおける広域的な移動手段の確保・連携

首都圏から益子町への観光客の交通手段として、高速バス「関東やきものライナー」が運行しており、年々利用者が増加しています。

一方、田野地区の観光交流拠点「道の駅ましこ」への公共交通でのアクセスについては、益子駅から「タクシー」もしくは「レンタサイクル」に限定されているほか、町内でも「七井地区」からはデマンドタクシーの乗り継ぎが必要であるなど不便な状況にあります。

このような状況の中、本町では、広域的な移動手段の確保に加え、町内の移動手段との連携も重要になります。

3. 公共交通の利用促進及び環境整備

町内では、複数の交通手段を乗り継いで目的地へ移動する際、駅やバス停間の移動距離が長かったり、待合環境が整備されていなかったりなど、基幹的な公共交通と二次交通間での連続性が不十分な状況が見受けられます。

まちづくりとの連携（産業や環境の振興、環境に優しい都市）や利用者が減少している公共交通網を維持するため、乗り継ぎの連携強化や利便性の向上を図ることで、積極的な公共交通の利用促進を図る必要があります。

第2節 基本方針

1. だれもがいきいきと生活できる移動手段の維持・確保

高齢社会のさらなる進展が想定される中、高齢者等の交通弱者が日常生活に不便することなくいきいきと生活するための移動手段として、地域公共交通の維持・確保を図ります。

2. 通勤・通学等の日常生活の移動手段となる公共交通ネットワークの形成

通勤・通学等の日常生活に欠かせない地域の移動手段として、利用者の利便性を損なうことがないように公共交通のネットワークの形成を図ります。

3. まちづくりや観光施設と連携したネットワークの実現

安全で暮らしやすいコンパクトなまちづくりや、益子焼などの観光資源や新たな地域振興拠点である道の駅等の観光施設と連携し、地域内の移動のみならず広域性も確保された公共交通のネットワークの実現を図ります。

4. 利便性・快適性の高い公共交通ネットワークの実現

複数の交通手段間の連携や交通結節点の強化により、公共交通の利用者にとって、利便性のみならず、快適性の高い移動が可能となる公共交通ネットワークの実現を目指します。

5. 人や環境にやさしい公共交通体系の実現

交通弱者の利用のみならず、環境にも配慮した、人や環境にやさしい公共交通体系の実現を目指します。

第3節 目標と施策、及び評価指標

目指す将来像を達成するため、目標や施策及び評価指標を以下のように考えていきます。

目標	施策	評価指標
いきいきと生活する高齢者の増加	【施策1】 デマンドタクシーの運行継続 【施策2】 免許返納者への支援強化	①デマンドタクシー利用者数 ②デマンドタクシー収支率
多様な主体の移動環境の向上	【施策3】 デマンドタクシー運行体制見直し 【施策4】 道の駅へのアクセス向上 【施策5】 乗り継ぎ利便性の向上 【施策6】 観光客への公共交通充実	①七井～田野地区間デマンドタクシー利用者数 ②道の駅ましこへの公共交通来訪者数 ③公共交通利用者満足度向上 ④年間観光客入込み数
公共交通の利用促進	【施策7】 各種割引サービス導入 【施策8】 公共交通利用に関する教育・啓発活動	①公共交通利用者数の維持・増加
公共交通利用者満足度の向上	【施策9】 サービス水準の向上 【施策10】 満足度調査等の実施	①公共交通利用者満足度向上

第5章 施策の展開

第1節 計画達成のための目標

【目標1】いきいきと生活する高齢者の増加

地域公共交通の維持・確保を図ることにより、高齢者等の交通弱者が日常生活に不便することなく、いきいきと生活できる環境を確保するため、以下の施策を実施します。

施策1. デマンドタクシーの運行継続

自家用車を持たない80歳以上の高齢者の利用が増加し、外出時はほぼデマンドタクシーに頼る人もいるなど、デマンドタクシーは地域の移動手段としての重要性が増大していることから、現在運行しているデマンドタクシー「ひまわり号」について、より利用しやすい運行体制に見直しながら（→施策3参照）、今後も運行を継続していきます。

施策2. 免許返納者への支援強化

これまで自家用車を運転して日常生活を送ってきた高齢者は、自動車運転免許証返納後の日常生活に不安を感じて免許返納に踏み出せない人も多いと推測されます。そのような中、高齢者ドライバーによる悲惨な事故が頻発するなど、免許返納をめぐる議論は社会問題となっているところです。

そのため、以下の施策の実施により、地域公共交通を通じた、免許返納後のいきいきと生活できる高齢者の生活の支援を強化します。

(1) 「高齢者運転免許証自主返納奨励事業」のPR強化

本町では平成28年4月1日より、自動車運転免許証返納後の日常生活時の移動を支援するため、「高齢者運転免許証自主返納奨励事業」として、すべての運転免許証を自主返納された高齢者に対し、デマンドタクシーの無料券（20回分）を配付しています。

今後は警察等の関係機関との連携を強化し、高齢者の免許更新時等にさらなるPR強化を図ります。

(2) タクシーの「運転免許返納者割引」の周知強化

栃木県タクシー協会では平成21年から「運転免許返納者割引」の制度を開始しており、65歳以上で運転経歴証明書^{*}を提示すれば運賃1割引となります。

タクシーは、デマンドタクシー運休日や運行時間外、及び急用で外出する際に便利であることから、タクシー協会との連携により本制度の周知が図られるようPRを強化します。

^{*}運転経歴証明書：運転免許証の取り消しを行った際に、申請によって交付される証明書。本人の写真とともに、

住所・氏名・生年月日、取り消し前5年間の運転等の経歴が記載

【目標 2】 多様な主体の移動環境の向上

通勤・通学、通院、買い物等の日常生活から観光周遊など、益子町内における様々な公共交通利用者の移動環境を向上させるため、以下の施策を実施します。

施策 3. デマンドタクシー運行体制見直し

デマンドタクシー利用者へのアンケート調査の結果、改善要望の高かった「運行エリア」と「運行時間帯」について、今後、デマンドタクシーを利用していない人や利用頻度が低い登録者の意見も参考としながら、運行体制を見直します。

(1) 運行エリア

デマンドタクシーの運行エリアは現在「益子町内」に限定されていますが、利用者のアンケート調査では町外の「芳賀赤十字病院」への乗入れを希望する意見が挙がっています。

今後、「芳賀赤十字病院」へデマンドタクシー以外の交通手段で直接乗入れが可能か検討を進めます。

また、現在、田野地区と七井地区間の移動については益子町での乗り継ぎが必要ですが、アンケート調査結果からも要望があることから、これまでのデマンドタクシーの効率化を維持しながら、両地区間で利用度が高い施設に乗り換えなしで直接乗入れが可能か検討を進めます。

(2) 運行時間帯

デマンドタクシーは、現在12時台を除く8時台から16時台に運行しています。その一方で、利用者アンケートから「昼12時台に運行して欲しい」という要望が多かったことから、昼12時台の運行の可能性を検討します。

(3) 将来の展望

利用者増加を踏まえつつ、環境問題やカーボンニュートラルを考慮し、デマンドタクシーの安定した運営と事業の継続を図って参ります。

また、デマンドタクシーについては、町内における重要な交通手段の1つであることから、今後も地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）の補助を活用することで、運行を維持できるように努めていきます。

施策4. 道の駅へのアクセス向上

田野地区に開業した益子町内外における新たな観光交流拠点「道の駅ましこ」は、現在、公共交通でアクセスできないため、真岡鐵道や関東やきものライナー等を利用してきた観光客等が道の駅を利用しづらい状況です。

そのため、宇都宮方面からの来訪者や真岡鐵道利用者が道の駅を利用しやすくなるアクセス向上策の検討を進めます。益子駅から道の駅ましこへの路線バス運行ルートの延伸等の案が考えられます。

施策5. 乗り継ぎ利便性の向上

益子町民及び観光客等の来訪者が出発地から目的地までスムーズに移動できるよう、公共交通乗り継ぎ時の利便性を向上させる以下の施策を検討します。

(1) 真岡鐵道～路線バス（七井駅周辺）

七井駅と路線バスのバス停間は250m離れていることから、路線バスと真岡鐵道の乗り継ぎがスムーズかつ、安全にできる方法について関係機関と連携を図りながら検討します。

なお、七井駅とバス停間は歩道が無い場合、歩道等の整備による歩行者の安全性向上を検討します。

(2) 路線バス～関東やきものライナー（益子駅）

益子駅で乗り継ぎ可能ですが、運行ダイヤの調整等がされていないため、スムーズな乗り継ぎが出来るよう、関係機関と連携を図りながら検討します。

(3) 利用者が多いバス停

利用者が多いバス停に対し、施設所有者等の企業や団体と連携を図りながら、バス待合環境の充実を図ります。

また、通勤や通学時における自宅からバス停までの自転車利用を考慮し、利用者が多いバス停を対象として、安心して駐輪できるスペースの確保に努めます。

施策 6. 観光客への公共交通充実

本町へ来訪する観光客の移動の利便性を高めるため、以下の通り、公共交通の充実を図ります。

(1) 巡回バスの機能向上

「益子の陶器市」開催時のみ運行している巡回バスについて、開催日や運行ルート以外の利用需要への対応方法について検討します。

また、ゴールデンウィークや秋の観光シーズンは周辺道路が大変混雑することから、観光協会等との連携を図りながら、巡回バスへの乗り換えを強化する方策を検討します。

(2) タクシーとの連携

真岡鐵道等で来訪した観光客が自由に益子町内に点在する観光施設を回遊できる交通手段として、タクシー協会と連携し、タクシーの利用方法を検討します。

(3) 情報提供の充実

各公共交通機関の運行ルートやバス停、時刻表等が一度に確認できる公共交通案内マップを作成し、観光協会ホームページへの公開や、道の駅、高速道路サービスエリア・パーキングエリア、各観光施設での配布等を検討します。

【目標3】公共交通の利用促進

公共交通網を持続していくため、また環境負荷の小さい交通手段として利用促進を図るため、運行事業者や行政、利用者等、複数の主体が連携することにより相乗効果を生み出す、以下の施策を実施します。

施策7. 各種割引サービス導入

公共交通の運賃支払いに対する料金負担を軽減することにより、外出機会の増加や、自家用車等から公共交通への転換が図られるよう、各種割引サービスの導入について検討します。

具体的には、以下のような割引施策が考えられます。

(1) 高齢者利用券

日常生活における公共交通での移動経費が高齢者に負担とならないよう、高齢者を対象とした割引券の発行等について検討します。

(2) 回数券の導入

定期的な利用者の利便性向上を図るため、割引等を考慮した回数券の発行等について検討します。

(3) 福祉タクシーの利便性向上

重度心身障害者に助成するタクシーの初乗り運賃の利用券は、ひと月あたり3枚を限度として交付していますが、利便性の向上を図るため、回数券化や交付枚数の増加について検討します。

施策 8. 公共交通利用に関する教育・啓発活動

町内の公共交通網を持続していくため、運行事業者のみならず、行政や利用者との連携により相乗効果を生み出し、利用促進に向けた取り組みを実施します。

(1) モビリティマネジメント[※]の実施

公共交通の必要性を感じつつも実際には利用されていない状況であることを考慮し、鉄道やバスなどの公共交通の利用を取り入れた日常生活の提案等、公共交通に対する意識改革を推進します。

※モビリティマネジメント：渋滞や環境、あるいは個人の健康等の問題に配慮し、過度に自動車に頼る状態から、公共交通や自転車などを「かしこく」使う方向へと自発的に転換することを促す、一般の人々や様々な組織・地域を対象としたコミュニケーションを中心とした持続的な一連の取組。具体的には、コミュニケーション施策を中心として、様々な運用施策、システムの導入や改善、それらを実施する組織の改変や新たな組織の創出などを実施しつつ、持続的に展開していく一連の取組

(2) 公共交通の乗り方教室（説明会）

小学生等に対し、通学時や通常利用時にスムーズに鉄道やバスの乗降ができるよう、鉄道やバスの乗り方教室を実施します。

また、老人クラブ等で多くの高齢者が集まる場所に出向いた「公共交通の乗り方教室」を実施し、公共交通による高齢者の外出のきっかけづくりを行います。

また、乗り方教室の参加者にお試し乗車券を配付して、バス利用を体験する機会を創出します。

対象	小学生等	高齢者（老人クラブ等）
内容	<p>【バス】</p> <p>実際に運行しているバス車両を利用して、バスの乗り方、降り方を説明する</p> <p>【鉄道】</p> <p>駅での切符の買い方、電車への乗り方、降り方を説明する</p>	<p>【バス】</p> <p>実際に運行しているバス車両を利用して、バスの乗り方、降り方を説明する</p> <p>【デマンドタクシー】</p> <p>利用登録の方法、予約の方法について説明する</p>
お試し乗車券配付例	<p>路線バス大人・子供セット町内区間往復乗車券</p> <p>→子供だけの乗車ではなく、親子でバスを利用してもらう</p>	デマンドタクシー乗車券

(3) エコ通勤の提案

環境にやさしいライフスタイルとして、鉄道やバスを利用した通勤方法を提案していきます。また、エコ通勤によるCO2排出量削減効果から環境への貢献度を評価し、「エコ割」等の特典の導入を検討します。

さらに、自動車運転実証実験に参加し、カーボンニュートラルの実現を見据え町内の電気自動車への転換推進についても検討していきます。

【エコ通勤導入例】

- 毎週決まった曜日を“エコ通勤デー”として、エコ通勤参加者への割引を実施する。
- 個人、または企業単位で参加者を募り、一定期間を“エコ通勤デー”として、エコ通勤参加者への割引を実施する。

【目標 4】 公共交通利用者満足度の向上

公共交通機関の利用者を増やすため、以下の施策を実施します。

施策 9. サービス水準の向上

公共交通を継続して利用してもらえるよう、運行に係るサービス目標を定めることにより、常にサービス維持、改善を図っていきます。

(例) 乗務員研修の実施、乗務員の接客マナー向上、情報提供の充実等

施策 10. 満足度調査等の実施

PDCAサイクル^{*}の確立を目指し、定期的に公共交通内や乗降時にアンケート調査を実施し、サービス目標の見直しを図ります。

(例)

- ①公共交通（電車・バス・デマンドタクシー）車内にて、利用者にアンケート用紙配布
- ②利用者はアンケート回答後、車内の回収箱に投函
- ③回答結果は町ホームページや公共交通車内に掲載するほか、利用者にもチラシとして満足度を公表するとともに、満足度の向上を図る。

※PDCAサイクル：計画の策定（Plan）、施策の実施（Do）、施策の進行状況・評価（Check）、見直し・改善（Action）を繰り返しながら、計画を継続的に改善していく仕組み

第2節 目標達成度の評価指標

目標の達成度について、以下の評価指標を設定します。

目標	施策	施策内容	調査方法	評価指標
① いきいき 高齢者の 増生活 する	【施策1】 デマンドタクシーの 運行継続	現在運行しているデマンドタク シー「ひまわり号」について、 より利用しやすい運行体制に見 直しながら運行を継続する	デマンドタクシー 利用実績	デマンドタクシー利用者数 (令和2年度) 44人/日 → (令和4年度) 50人/日 → (令和8年度) 54人/日 デマンドタクシーの収支率 (令和2年度) 14.8% → (令和8年度) 17.0%
	【施策2】 免許返納者への支援 強化	「高齢者運転免許証自主返納奨 励事業」について、警察等の関 係機関との連携を強化しPRを強 化する タクシー協会との連携によりタク シーの「免許返納者割引」の 制度周知が図られるようPRを強 化する	-	
② 多様な 主体の 移動環 境の向 上	【施策3】 デマンドタクシー 運行体制見直し	要望の高い町外施設へのデマン ドタクシーの乗入れ可能性につ いて、周辺市町と検討を進める 七井～田野地区間において要望 が高い施設に直接乗入れ可能か 検討する	デマンドタクシー 利用実績	七井～田野地区間デマンド タクシー利用者数 (令和2年度) 0人/日 → (令和8年度) 20人/年 ※令和2年度の利用者数は 年間で19人利用
	【施策4】 道の駅へのアクセス 向上	宇都宮方面からの来訪者や真岡 鐵道利用者が道の駅を利用しや すくなるアクセス向上策を検討 する	デマンドタクシー 利用実績	道の駅ましこへの公共交通 来訪者数 (令和2年度) 44人/年 → (令和8年度) 60人/年
	【施策5】 乗り継ぎ利便性の向 上	益子町民及び観光客等の来訪者 が出発地から目的地までスム ーズに移動できるよう、公共交通 乗り継ぎ時の利便性を向上させ る施策を検討する	アンケート調査	公共交通利用者満足度向上
	【施策6】 観光客への公共交通 充実	巡回バスの機能向上やタクシー との連携、情報提供の充実等、 観光客への公共交通の充実を図 る	観光課データ	年間観光客入込み数 (令和2年度) 179万人/年 → (令和4年度) 225万人/年 → (令和8年度) 340万人/年

目標	施策	施策内容	調査方法	評価指標
③ 公共交通の利用促進	【施策7】 各種割引サービス導入	公共交通の運賃支払いに対する料金負担を軽減するため、各種割引サービスの導入について検討する	デマンドタクシー 利用券の利用額 実績 福祉タクシー チケット等の利用 額実績 デマンドタクシー 利用実績	デマンドタクシー無料券の利用額 福祉タクシーチケット等の利用額 デマンドタクシー（再掲） （令和2年度）44人/日 →（令和4年度）50人/日 →（令和8年度）54人/日
	【施策8】 公共交通利用に関する教育・啓発活動	運行事業者のみならず、行政や利用者との連携により相乗効果を生み出す取り組みを実施する	実績データ	（令和8年度）学校でのバスの乗り方教室実施 高齢者団体等へのデマンドタクシー講座の実施
④ 公共交通の満足度向上利用者	【施策9】 サービス水準の向上	運行に係るサービス目標を定め、常にサービス維持、改善を図る	アンケート調査	公共交通利用者満足度向上
	【施策10】 満足度調査等の実施	定期的に公共交通内や乗降時にアンケート調査を実施し、サービス目標の見直しを図る		

第6章 計画の推進について

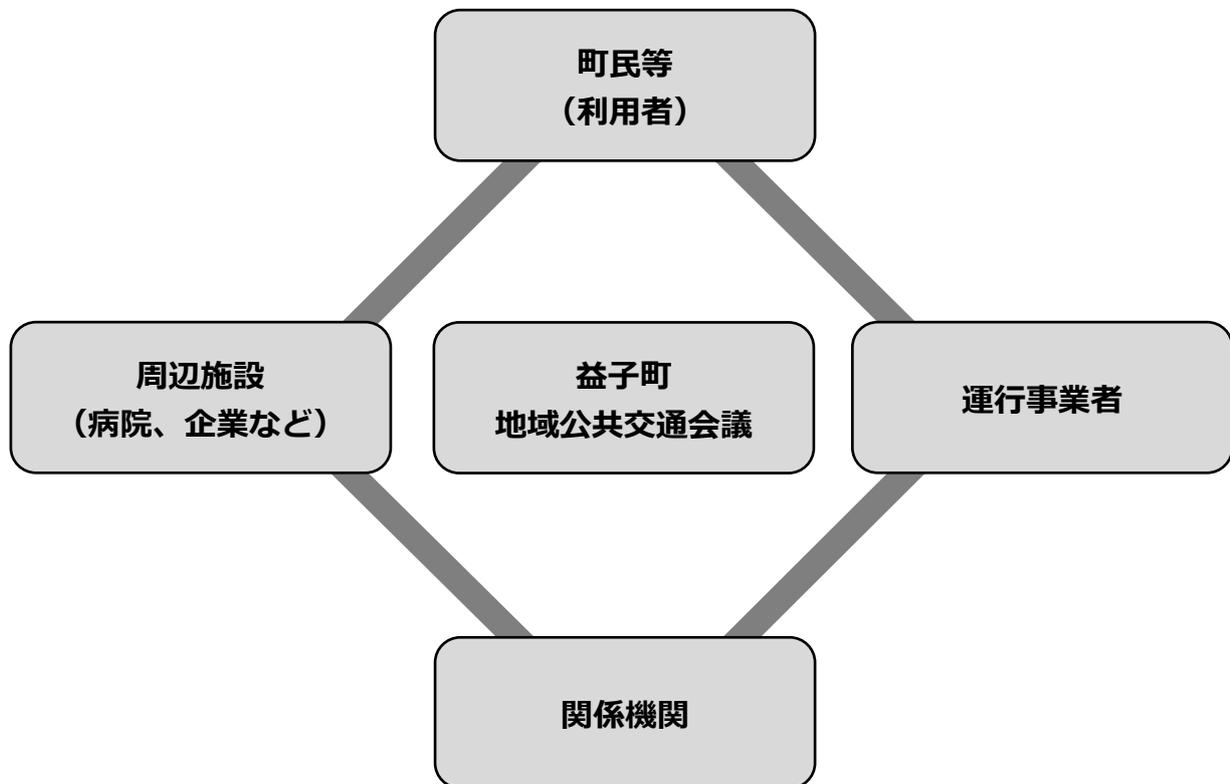
第1節 計画の推進体制

本計画の推進にあたっては、益子町地域公共交通会議が中心となって、町民、運行事業者などの関係機関と連携を図り、各機関と一体となって計画を推進します。

本計画で示す各施策については、益子町地域公共交通会議、運行事業者、国、県、町内の関係機関と協議、調整を実施しながら推進します。

利用促進等については、利用者である町民等、周辺施設の病院、商業施設、学校等と連携を図りながら計画を推進します。

◆計画の推進体制イメージ図



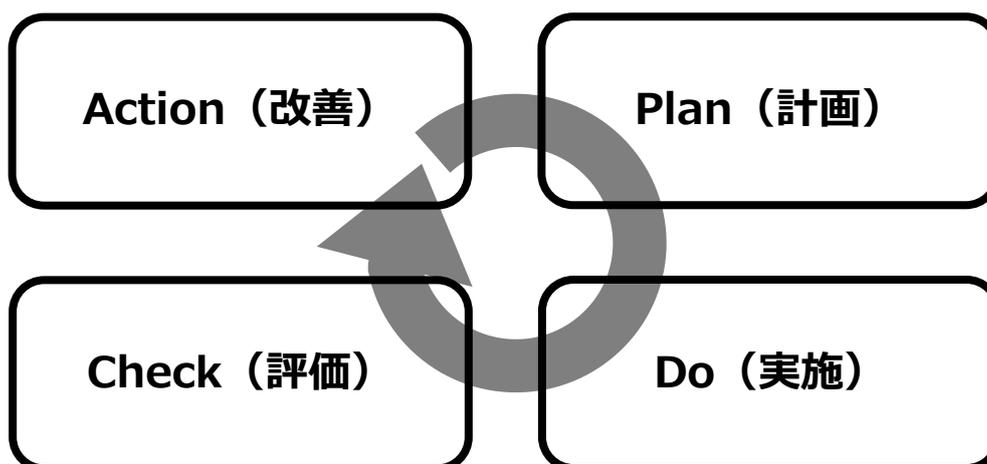
第2節 計画の推進方法

本計画で実施予定の施策について、各施策の効果を判断し、計画実施時期、組み合わせを検討しながら実施します。計画実施時期については、即効性が高い短期施策、中長期施策を組み合わせ実施し、施策の効果が最大限に発揮できるよう検討、実施します。

第3節 計画の評価及び見直し

益子町地域公共交通計画は、計画の策定（Plan）、施策の実施（Do）、施策の進行状況確認・評価（Check）、見直し・改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルの考え方に基づいて推進します。

◆計画の評価及び見直し方法



Plan (計画)

益子町地域公共交通計画に基づき、益子町地域公共交通会議が施策の進め方、実施期間等を検討し、計画を策定。

Do (実施)

目標を達成するために設定した施策を計画に沿って実施。

Check (評価)

目標を達成するために設定した事業が計画に沿って実施されているか、目標が達成されているかについて評価を実施。目標については設定した目標値の達成状況を毎年確認。

Action (改善)

事業の実施状況や目標の達成状況、また社会環境の変化等を勘案し、計画の見直しや改善を実施。

第4節 計画の推進にあたって

計画の推進にあたり、施策の実施状況を把握するため、毎年、益子町地域公共交通会議を開催し、定期的に施策の実施状況を確認していきます。

本計画の計画期間は5年間としていますが、その他の上位関連計画との整合性を考慮し、その都度、計画の達成状況を把握していきます。また、達成状況を把握していく中で、益子町を取り巻く環境、社会情勢と照らし合わせ、本計画の施策内容と合わない場合は、施策の変更、計画の見直しを行います。

◆各施策の実施主体と計画目標

施策	実施主体	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年以降
【施策1】 デマンドタクシーの運行継続	町 商工会 運行事業者			運行継続			
【施策2】 免許返納者への支援強化	町 警察 タクシー協会	高齢者運転免許証自主返納奨励事業等周知					
【施策3】 デマンドタクシー運行体制 見直し	町 運行事業者	検討・協議		見直し実施（検討・協議結果による）			
【施策4】 道の駅へのアクセス向上	町 運行事業者	検討・協議				向上策の実施	
【施策5】 乗り継ぎ利便性の向上	町 運行事業者 施設所有者	検討・協議				満足度の調査	
【施策6】 観光客への公共交通の充実	町・観光協会 運行事業者 タクシー協会	検討・協議		巡回バスの機能向上等 情報提供の充実			
【施策7】 各種割引サービス導入	町 運行事業者	検討・協議		各種割引サービス検証・拡充			
【施策8】 公共交通利用に関する教育・ 啓発活動	町・学校 老人クラブ等 運行事業者	検討・協議		教育・啓発活動実施			
【施策9】 サービス水準の向上	町 商工会 運行事業者	サービス水準の向上					
【施策10】 満足度調査等の実施	町 運行事業者	検討・協議		満足度調査の実施			

益子町地域公共交通計画

発行：益子町地域公共交通会議（総務部企画課内）

〒321-4293

栃木県芳賀郡益子町大字益子2030番地

電話：0285-72-8828

FAX：0285-72-7601

